

令和2年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 117号：2020年5月29日 ・ 118号：2020年8月31日
- ・ 119号：2020年12月28日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第28号：2021年3月31日発行予定

2. 研究員等の活動

【研究員】

- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
研究テーマ：プログラミングを題材とした個別学習と協調学習の効果的実践に関する研究
ジャーナル 28号に報告掲載予定。

3. 研究活動

【1】 教育支援

(1) FD, SD 関連（多くの場合高等教育研修センターと協力）

- ・ 令和2年度一学期全学教育科目に係るTA研修会（ビデオ視聴） 4月3日～5月8日
※ビデオ視聴による受講。修了者数128名
- ・ 令和2年度二学期全学教育科目に係るTA/TF合同研修（ビデオ視聴）
9月14日～9月18日，TA採用予定者：86名，TF採用予定者：39名

(2) 入学者選抜関連

(1) 未来型人材育成選抜試験の開発

- フロンティア人材評価の実施（総合型選抜：医学・水産）
- 次期フロンティア人材評価システムの開発（機能要件定義・画面設計・モックアップ開発）
- MMIシナリオ作成
- 追跡調査（年次アンケート調査）
- フロンティア入試Type I コンピテンシー評価（各部局との調整と評価内容確定）

(2) 入試広報

- オープンキャンパス（オンライン：2020.09.20）
- 北大進学相談会（オンライン：2020.10.04/18）
- 函館新聞社主催進学相談会（オンライン：2020.09.26）
- 札幌旭丘高校学問研究会（対面：2020.11.10）
- 札幌第一高校大学説明会（対面：2020.10.6）
- 北大説明会（河合塾 対面：2020.11.18）
- 旭川北高等学校進路講演（対面：2020.10.13）
- 日本大学附属中・高等学校進路講演会（対面：2020.10.31）

(3) 学外委員等

- 入学者選抜連絡協議会企画委員会・編集委員会
- 国立大学アドミッションセンター連絡会議（HP立ち上げ、セミナー企画など）
- 札幌南高等学校評議員

(4) 高大接続 高大連携授業聴講型公開講座

- ・ 高校訪問：藤女子高校（11月6日），市立札幌旭丘高校（10月29日），札幌西高校（10月26日），札幌南高校（11月5日），市立札幌開成中等教育学校（10月27日）
- ・ 説明会：札幌北高校（11月9日）
- ・ 講座（11月～2月）：参加校6校（北，藤女子，旭丘，西，南，開成），参加者276名（うち、レポート提出者237名），開講講座13講座（オンライン授業2授業，模擬講義動画11授業）

- ・受講生アンケート
- ・報告書の発行

(5) 高校等調査

高等学校等における教育・進路指導および大学の入試・入試広報に関する調査（調査計画の立案，準備）

(6) SSH 支援

米沢興譲館高等学校：課題研究発表会審査及び講評（対面：2020. 10. 21, 2021. 2. 11）

米沢興譲館高等学校 SSH 運営指導委員会（リモート：2021. 2. 18）

立命館慶祥高等学校：課題研究発表会審査及び講評（対面：2020. 10. 30, 2021. 2. 5）

立命館慶祥高等学校：SSH 運営指導委員会（対面：2021. 3. 16）

釧路湖陵高等学校：課題研究発表会審査及び講評（リモート：2020. 11. 4, 対面：2021. 2. 20）

佐倉高等学校：SSH 運営指導委員会（書面会議：2021. 2. 22）

(7) その他

北大先端移動科学大学講演（対面：2020. 11. 13-14 旭川）

九州産業大学高大接続ワークショップシンポジスト・パネリスト「世界の教育改革で求められる非認知的能力」（リモート 2021. 2. 27）

※高等教育ジャーナル第 28 号ならびに大学入試研究ジャーナル NO. 31 に掲載予定

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

(1) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

- ・全学インターンシップ（全学教育科目「インターンシップ A（国内 2020）」「インターンシップ B（国内 2020）」の実施
- ・全学インターンシップ履修説明会：オンラインで実施、5 月 17 日（日）～
- ・学生と企業等のマッチング：派遣学生 40 名（新渡戸カレッジ生を含む）
- ・インターンシッププレ研修の実施：オンラインで実施、5 月 27 日（水）、6 月 1 日（月）、7 月 25 日（土）
- ・事前研修：オンラインで実施、7 月 14 日（火）～
- ・派遣学生個人面談（1 人約 15 分）：オンラインで実施、7 月 28 日（火）～8 月 13 日（木）
- ・インターンシップ成果発表共有会：オンラインで実施、10 月 30 日（金）
- ・終了後のアンケート調査結果：将来のキャリア設計に「大いに役立つ」68%、「役立つ」が 32%、全体の満足度は「大いに満足」が 61%、「満足」が 39%

(2) 経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施

- ・2016 年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを①の全学インターンシップの特別プログラムとして実施しているが、2020 年度は当初は計 11 社、11 名の学生が参加予定。
- ・5 月参加希望学生の募集（37 名の応募）
- ・新型コロナウイルスの影響により、野村證券、日本航空、JR 東日本、三井不動産、凸版印刷の 5 社 5 名（すべて学部 2 年生名）のみがオンラインでの実施。
- ・事前研修、個人面談は①と合同で実施
- ・11 月 18 日（水）に成果報告会を開催（派遣学生、企業、次年度派遣希望学生等の参加）
- ・2019 年度から「経済同友会インターンシップ推進協会」が設立され、本学も同協会の正会員として参画。2020 年度は同協会に設置された「オンライン実習教育価値向上プロジェクトチーム」に参画し、オンライン実習のあり方についての検討に貢献。

(3) キャリア教育科目（キャリアデザイン、大学と社会）の充実

①特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生 12 名による講義を実施
- ・2017 年度から、新渡戸カレッジと共同実施し、12 名の講師のうち 4 名の新渡戸カレッジフェロー及びメンターに講義をいただいた。

②一般教育演習「キャリアデザイン」の実施

(4) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

- ・科学研究費補助金「第三段階教育における往還的コンピテンシー形成と学位・資格枠組みの研究」(基盤研究(A))に参画し、グローバルな経済・社会環境の中で活躍できる専門的人材の養成のためのプログラム開発やその国際的通用性を高めるための基本的枠組みの開発的研究を行った。

(4) 地域社会と連携する大学づくり

(1) 北海道大学公開講座(全学企画)の企画運営及びその将来像の調査研究

- ・新型コロナウイルスの感染拡大による、令和2年度北海道大学公開講座(全学企画)の延期・中止に伴って、オンライン化を含めた令和3年度以降の開催方法を検討した。
- ・令和3年度同講座「備える：ウィズコロナの時代をどう生きるか」(令和3年6月3日～7月29日にオンラインで計8回開催予定)を企画した。

(2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

- ・地域住民による生涯学習への支援として、北海道生涯学習審議会委員や環境省EPO北海道運営協議会委員などを務めた。
- ・札幌市や北海道環境財団、RCE北海道道央圏協議会と協働して、無作為に選ばれた札幌市民20人が温室効果ガス排出実質ゼロ実現の方策を議論する「気候市民会議さっぽろ2020」を11月8日～12月20日に4回にわたりオンラインで開催した(科研費基盤研究(B)「公正な脱炭素化に資する気候市民会議のデザイン」の一環として実施)。

【2】教育評価(総合IR室教学IR部門への支援)

- ・大学IRコンソーシアム 第3回定時社員総会(6月25日)
細川 理事就任
- ・大学IRコンソーシアム会員校向けオンライン講演会(10月15日)
(・Googleフォームを利用したWebアンケートの導入方法について ・Googleスプレッドシートでのデータ収集保管、Excelを使用した経年の調査データを蓄積する簡易データベースの設計方法 経年データをTableauを活用し視覚化するための基盤の構築について)
- ・大学IRコンソーシアム会員校向けオンライン講演会(11月26日)
(・学生調査を用いた学習行動の分析事例 ・学生調査を用いた、学生および教員へのフィードバック事例)
- ・大学IRコンソーシアム 合同シンポジウム・勉強会(2021年3月22～24日)
3月22日 細川 発表予定
- ・大学IRコンソーシアム 理事会
(オンライン出席：4/15・6/3・6/25・7/27・9/18・10/19・11/16・12/21・1/18)
- ・大学IRコンソーシアム 調査活用部会(オンライン出席：5/22・10/30)
- ・授業アンケートWEB化支援
- ・全学教育授業評価アンケートの分析、報告(ホームページで公開)
- ・ファクトブック編集への参加
- ・総合IR室ホームページ企画立案・公開
- ・ホームページ上にアンケート結果概要の一般公開を実施
- ・アセスメント・ポリシーの研究
- ・大学IRコンソーシアム会員向け令和元年度共通卒業生調査(試行)分析並びに会員向け公開
- ・大学IRコンソーシアム会員向け令和2年度共通卒業生調査(試行)企画立案実施

4. カリキュラム開発

【1】全学教育

教養科目4コマ、総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】大学院教育

理学院，教育学院，保健科学院，環境科学院で開講

【3】 大学院共通授業科目

PFF セミナー，PFF 授業

※高等教育ジャーナル 28 号に「デザイン・シンキング入門-スタンフォード大学 d. school 研修報告-」を報告掲載予定。

5. 学協会等の活動支援・発表

【1】 IDE 大学協会北海道支部の活動の支援（研究集会の企画等）

【2】 アドミッションセンターの支援

【3】 北海道地区 FD・SD 推進協議会の支援（総会の企画支援）

【4】 大学教育学会での課題研究（STEM 教育）支援

【5】 学会発表

・全国大学入学者選抜研究連絡協議会第 15 回大会（中止：予稿集のみ発行）

・日本創造学会第 42 回研究大会（オンライン：2020. 10. 31-11. 01）

・情報処理学会第 83 回全国大会（オンライン：2021. 03. 18-20）

・大学教育学会第 42 回大会（オンライン：2020. 6. 6 誌上発表）

6. スーパーグローバル等への対応

【1】 高等教育研修センターの支援

【2】 IR 活動によるサポート（カレッジやスクールの評価），総合 IR 室の企画支援

【3】 TF 研修ならびに教育力養成講座(PFF)による TF 養成

【4】 国際入試導入への支援

【5】 未来型人材育成選抜機構（仮称）の支援

7. 外部資金の獲得

【1】 機能強化経費（2017-2021 年度）：入試，FD，IR に関する部門

【2】 科研費挑戦的研究（開拓）「質問力を測定する評価指標と試験環境の開発」創造的質問を評価する QQ テストの開発と試行（膳所高校・天王寺高校・神戸高校・高槻高校）

【3】 科研費基盤研究（C）「国際的・横断的資格認証枠組みに基づく大学入学者選抜に関する国際比較研究」研究会、外国調査（オンラインインタビュー調査）

令和元年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 114号：2019年4月30日
- ・ 115号：2019年8月31日
- ・ 116号：2019年12月31日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第27号：2020年3月31日発行予定

2. 研究員等の活動

【研究員】

- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
研究テーマ：大学の一般情報教育における情報の科学的理解のための学習教材についての研究
ジャーナル27号に報告掲載予定。
- ・ 七戸 俊明（医学研究科消化器外科）
研究テーマ：医学部新A0入試の研究
医学部医学科A0入試において新形式の面接を採用

3. 研究活動

【1】 教育支援

（1） FD, SD 関連（多くの場合高等教育研修センターと協力）

- ・ 平成31年度全学教育科目に係るTA研修会 4月3日（水）、4月4日（木）、4月5日（金）：3日間のべ修了者数274名 ※ビデオ受講を含まない
- ・ 第38回北海道大学教育ワークショップ 5月17日（金）～5月18日（土）：17名参加
- ・ IDE大学セミナー 8月30日（金）：71名参加
- ・ 第39回北海道大学教育ワークショップ 10月18日（金）～10月19日（土）：20名参加
- ・ 玉川大学初年次教育に関する研修会「北大初年次教育の成果と展望」 11月1日：10名参加
- ・ スタンフォード大学 d. School のデザイン・ラーニング指導者研修に参加 1月10～14日
- ・ 令和元年度第2回北海道大学TF研修会 2月27日（木）（中止）
- ・ 千歳科学技術大学FD「北海道大学における教育の質保証—学習支援とIRについて—」：3月4日（中止）
- ・ 藤女子大学FD「LMS運用の現状と課題」：3月9日（中止）

（2） 入学者選抜関連

1) コンピテンシーに基づく新入試の開発

- ・ コンピテンシー設計と過去問分析
- ・ コンピテンシーテストサンプル問題の開発
- ・ コンピテンシーテスト試行調査
- ・ 初等中等教育における知識データベースの構築
- ・ Webアドミッションシステムの導入と運用
- ・ ポートフォリオシステムの設計と開発
- ・ コンピテンシーに基づくMMIの開発と導入
- ・ コンピテンシーと高等学校の諸活動に関する調査
- ・ 北大入試改革フォーラム開催（6月18日）

2) 国際総合入試を含めたグローバル人材獲得のための新しい入試に関する研究

- ・ 国際総合入試会議および調査分析

3) 入試広報活動に関するAC支援とそれらに関する調査研究

4-1 進路講演

- ・高等学校等
旭川北高校（4月10日），帯広柏葉（11月7日）
- ・予備校
河合塾札幌校（11月），駿台予備校札幌校（11月），代々木ゼミナール札幌校（11月）
- 4-2 進路相談員
 - ・朝日新聞社主催全国国公立・有名私大相談会 2019
東京（7月7日），大阪（7月13日），名古屋（7月27日），横浜（7月28日）
 - ・Z会主催 2019 北大・東北大・筑波大合同説明会・相談会
新潟（7月7日）
 - ・Z会主催 2019 難関大学合同説明会・相談会
広島（7月15日），金沢（7月21日），福岡（7月28日）
 - ・東京大学主催主要大学説明会 2019
名古屋（8月18日），広島（8月31日）
 - ・北大主催の説明会等
入試説明会（7月18日），オープンキャンパス（8月4日），進学相談会 in 東京（8月24日），進学相談会 in 大阪（10月6日）
- 4-3 高校訪問
筑波大学附属坂戸高校（6月），ぐんま国際アカデミー中高等部（7月）
- 5) 高大連携授業聴講型公開講座
- 5-1 高校訪問
札幌旭丘高校（6月21日），札幌北高校（6月21日），札幌西高校（6月19日），札幌南高校（6月17日），藤女子高校（6月17日），札幌開成中等教育学校（6月21日）
- 5-2 オリエンテーション
第1回（9月20日），第2回（9月25日）
- 5-3 講座（9月～2月）
参加校 6校（旭丘，北，西，南，藤女子，開成），参加者 48名，開講講座 25講座
- 5-4 修了式
- 5-5 報告書の発行
- 6) 学外の入試関連委員
 - ・ 大学入試センター「全国大学入学者選抜研究連絡協議会幹事・企画委員」
 - ・ 北海道教育員会主催「公立高等学校入学者選抜改善の検討に係る懇談会」座長
 - ・ 北海道高等学校「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習指導方法の改善の推進のための実践研究（SCRUM）」委員
- 7) 研究発表
 - ・「高等学校による教科・諸活動におけるコンピテンシー評価活用の可能性ー『北大フロンティア入試（仮称）』への導入の試みからー」（5月25日，全国大学入学者選抜研究連絡協議会）
 - ・「フロンティア人材評価システムー主体性を含む学力3要素のコンピテンシーに基づく多面的・総合的評価ー」（5月25日，全国大学入学者選抜研究連絡協議会）
- 8) SSH および SGH 委員等
 - ・ SSH
山形興譲館 SSH 運営指導委員会（5月22日，2月18日），立命館 SSH 運営指導委員会（5月25日，12月12日，3月16日（予定）），佐倉高校 SSH 運営指導委員会（7月8日，3月20日），釧路湖陵 SSH 運営指導委員会（7月3日，2月22日）
- 9) その他
- 9-1 講演
 - ・朝日新聞社「あなたの将来・日本の未来を考える」（11月4日）
 - ・第28回先端科学移動大学 釧路北陽高校（11月15日），釧路生涯学習センター（11月16日）
 - ・円山アカデミー「世界の入試改革と北海道大学」（7月28日）

- ・北海道立校長協会「コンピテンス基盤型教育とは何か」(9月6日)
- ・山形興譲館評価に関する教員研修(8月27日)
- ・旭川大学・旭川大学短期大学部合同FD/SD研修会「学ぶ意欲を引き出すには何が必要か」(1月25日)
- ・北海道保健医療大学FD/SD研修会「学ぶ意欲を引き出すに花には必要か」(1月15日)

9-2 高等学校等委員

- ・札幌南高等学校評議員会(6月19日, 2月20日)

9-3 学内FD協力等

- ・北大生態環境TF会議(8回)
- ・平成31年(令和元年)度北海道大学入学試験調査報告書(ラーサポと合同)
- ・平成31年(令和元年)度北海道大学新入生アンケート調査報告書(ラーサポと合同)

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

1) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

全学インターンシップ(全学教育科目「インターンシップA(国内2019)」「インターンシップB(国内2019)」の実施

- ・「インターンシップではじめる!!就活準備ガイダンス」:4月18日(木)
- ・全学インターンシップ説明会:5月9日(木)、10日(金)
- ・学生と企業等のマッチング:派遣学生64名(新渡戸カレッジ生を含む)
- ・インターンシッププレ研修の実施:5月22日(水)、25日(土)、5月29日(水)、7月27日(水)
- ・事前研修:7月2日(火)、3日(水)、9日(火)、10日(水)
- ・派遣学生個人面談(1人約15分):7月17日(水)~31日(水)
- ・インターンシップ成果発表共有会:10月25日(金)
- ・終了後のアンケート調査結果:将来のキャリア設計に「大いに役立つ」及び「役立つ」が98%、全体の満足度は「大いに満足」及び「満足」が965%

2) 経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施

- ・2016年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを1)の全学インターンシップの特別プログラムとして実施しているが、2019年度は、野村證券、三井住友銀行、第一生命保険、日本航空、みずほ証券、全日空、JR東日本、三井不動産、三菱ケミカル、デュボン、コニカミノルタ各1名の計11社、11名の学生(1年生1名、2年生10名)を派遣。
- ・5月参加希望学生の募集(50名の応募)
- ・事前研修、個人面談は1)と合同で実施
- ・11月19日(火)に成果報告会を開催(派遣学生、企業、次年度派遣希望学生等の参加)
- ・2019年度から「経済同友会インターンシップ推進協会」が設立され、本学も同協会の正会員として参画。

3) キャリア教育科目(キャリアデザイン、大学と社会)の充実

①特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生12名による講義を実施
- ・2017年度から、新渡戸カレッジと共同実施し、12名の講師のうち7名の新渡戸カレッジフェロー及びメンターに講義をいただいた。

②一般教育演習「キャリアデザイン」の実施

4) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

- ・文部科学省令和元年度委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業として採択された「分野別学修成果可視化と国際的分野間横断体系化による職業実践専門課程の質保証・向上」(九州大学受託)に参画し、グローバルな経済・社会環境の中で活躍できる専門的人材の養成のためのプログラム開発やその国際的通用性を高めるための基本的枠組みの開発的研究を行った。

(4) 地域社会と連携する大学づくり

- 1) 北海道大学公開講座（全学企画）の企画運営及びその将来像の調査研究
 - ・令和元年度北海道大学公開講座（全学企画）「いま感じる、生かす、見つめ直す スポーツの力」（7月1日～7月22日に計8回開催，94名が受講）の実施と，令和2年度同講座「備える」（令和2年6月11日～7月23日に計8回開催予定）の企画
 - ・北海道大学の中期目標等に即した公開講座（全学企画）の企画運営方法に関する検討，公開講座と連携した全学教育授業（一般教育演習「聞く力・話す力のトレーニング」）の開発と実践
- 2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進
 - ・地域住民による生涯学習への支援として，北海道生涯学習審議会委員やさっぽろ市民カレッジ講師，環境省 EPO 北海道運営協議会委員などを務めた。

【2】 教育評価（総合 IR 室教学 IR 部門への支援）

- ・学生調査アンケートの実施（英訳含む），分析，学部への情報提供
- ・卒業生調査アンケートの実施，分析，学部への情報提供
- ・北海道大学・帯広畜産大学共同 獣医学課程卒業生アンケートの分析，獣医学部への情報提供
- ・大学院生調査実施（英訳含む），分析，大学院・研究科への情報提供（予定）
- ・大学 IR コンソーシアム 第2回定時社員総会・講演会 全体データ解析結果の情報提供並びに前年度（試行）共通卒業生調査分析結果の報告（6月24日）
- ・大学 I R コンソーシアム会員校向けワークショップ 運営（東京都 9月4日）
- ・大学 I R コンソーシアム会員校向け新システム説明会 運営（東京都 9月5日）
- ・大学 I R コンソーシアム・大正大学・大学 IR 総研 合同シンポジウム・勉強会「大学の教育活動の成果を検証する～学修成果は「誰のため」「何のため」に可視化するのか～」運営（東京都 9月5-6日）
- ・大学 I R コンソーシアム・大正大学・大学 IR 総研 合同シンポジウム—学修成果の可視化とその活用—（東京都 9月5日）
- ・大学 I R コンソーシアム 第13回 EMIR 勉強会—数値による成果主義と IR の間（はざま）—（東京都 9月6日）
- ・大学 IR コンソーシアム臨時社員総会 出席（神戸市 11月27日）
- ・大学 I R コンソーシアム I R システムデータ登録講習会 運営（神戸市 11月27日）
- ・大学 I R コンソーシアム I R システムデータ登録講習会 運営（東京都 12月4日）
- ・授業アンケートWEB化支援
- ・全学教育授業評価アンケートの分析，報告（ホームページで公開）
- ・ファクトブック編集への参加
- ・アセスメント・ポリシーの研究
- ・大学 IR コンソーシアム会員向け平成30年度共通卒業生調査（試行）分析並びに会員向け公開
- ・大学 IR コンソーシアム会員向け平成31年度共通卒業生調査（試行）企画立案実施
- ・大学 IR コンソーシアム新システム対応データチェックアプリケーションの開発
- ・大学 IR コンソーシアム暗号化アプリケーション ver.2 の開発

※ジャーナル27号に「日本における《カレッジ・インパクト理論》の有効性の検証」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

【1】 全学教育

教養科目4コマ，総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】 大学院教育

理学院，教育学院，保健科学院，環境科学院で開講

【3】 大学院共通授業科目

PFF セミナー，PFF 授業

5. 学協会等の活動支援

- 【1】 IDE 大学協会北海道支部の活動の支援（研究集会の企画等）
- 【2】 アドミッションセンターの支援
- 【3】 北海道地区 FD・SD 推進協議会の支援（総会の企画支援）
- 【4】 大学教育学会での課題研究（アクティブラーニング）、ワーキング（STEM 教育）支援
 - ・ A New Strategy for STEM Learning in a Changing Society: Focusing on the Undergraduate Program
 - World Education Research Association 2019: Focal Meeting (Tokyo, 2019.8.6)

6. スーパーグローバル等への対応

- 【1】 高等教育研修センターの支援
- 【2】 IR 活動によるサポート（カレッジやスクールの評価）、総合 IR 室の企画支援
- 【3】 TF 研修ならびに教育力養成講座(PFF)による TF 養成
- 【4】 サテライト・スクールへの参加
- 【5】 国際入試導入への支援
- 【6】 未来型人材育成選抜機構（仮称）の支援

7. 外部資金の獲得

- 【1】 平成 28 年度機能強化経費「機能強化促進分」（教育研究活動）、「未来型人材育成選抜試験の開発」（担当 鈴木 誠）：平成 31 年（令和元年）度予算 3,346 万円

平成 30 年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 111 号：2018 年 4 月 30 日 ・ 112 号：2018 年 9 月 28 日
- ・ 113 号：2018 年 12 月 27 日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第 26 号：2019 年 3 月 31 日発行予定

2. 研究員等の活動

【研究員】

- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
研究テーマ：大学における留学生を対象とした情報倫理教育教材についての研究
ジャーナル 26 号に報告掲載予定。
- ・ 七戸 俊明（医学研究科消化 器外科），木村 俊介（医学研究科解剖学講座 組織細胞学分野）
研究テーマ：入学者選抜におけるコンピテンシーに関する研究
研究会（4 月 3 日，4 月 27 日，5 月 14 日，6 月 11 日，1 月 31 日）

3. 研究活動

【1】 教育支援

（1）FD, SD 関連（多くの場合高等教育研修センターと協力）

- ・ 全学教育 TA 研修会 4 月 3 日（火）：257 名参加（修了者数）
- ・ 第 35 回北海道大学教育ワークショップ 5 月 25 日（金）～26 日（土）：21 名参加
- ・ 第 36 回北海道大学教育ワークショップ 6 月 25 日（火）～26 日（水）：13 名参加
- ・ 第 1 回北海道大学 TF 研修会 8 月 17 日（金）：29 名参加
- ・ 北海道教育大学 FD 講演会「アセスメント・ポリシーの考え方」8 月 29 日（水）：20 名参加
- ・ アセスメント・チェックリスト作成講習会 10 月 4 日（木）：30 名参加
- ・ アセスメント・チェックリスト作成講習会 10 月 29 日（月）：17 名参加
- ・ 名古屋大学第 155 回招聘セミナー「大学教育改善におけるアセスメント・ポリシーの役割とその活用方法」11 月 1 日（木）：40 名参加
- ・ 第 37 回北海道大学教育ワークショップ 11 月 9 日（金）～10 日（土）：15 名参加
- ・ 平成 30 年度第 2 回北海道大学 TF 研修会 2 月 6 日（火）

（2）入学者選抜関連

1) コンピテンシーに基づく新入試の開発

- ・ コンピテンシー設計と過去問分析
- ・ コンピテンシーテストサンプル問題の開発
- ・ コンピテンシーテスト試行調査
- ・ 教科書単語抽出
- ・ Web アドミッションシステムの準備
- ・ HP の開発準備
- ・ A0 入試のデザイン検討
- ・ コンピテンシーと高等学校の諸活動に関する調査
- ・ 北大入試改革フォーラム開催（5 月 21 日）

2) 文部科学省委託研究：個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究（2016 年度より 3 年間，3 年目）

全体会議，グループ会議，モニター調査（7 月），文科省への経過報告，文科省連絡会，成果発表，他会議・報告等多数

3) 国際総合入試を含めたグローバル人材獲得のための新しい入試に関する研究

- ・国際総合入試会議および調査分析
- ・ISP 入試会議
- 4) 入試広報活動に関する AC 支援とそれらに関する調査研究
 - 4-1 進路講演
 - ・高等学校等
札幌第一高校 (4 月 18 日), 旭川北高校 (4 月 11 日), 帯広柏葉 (11 月 8 日)
 - ・予備校
河合塾札幌校 (10 月), 駿台予備校札幌校 (12 月), 代々木ゼミナール札幌校 (11 月)
 - 4-2 進路相談員
 - ・朝日新聞社主催全国国公立・有名私大相談会 2018
東京 (7 月 8 日), 大阪 (7 月 14 日), 名古屋 (7 月 16 日), 横浜 (7 月 29 日)
 - ・Z 会主催 2018 難関大学合同説明会・相談会
福岡 (7 月 15 日), 広島 (7 月 16 日), 金沢 (7 月 22 日)
 - ・東京大学主催主要大学説明会 2018
広島 (8 月 8 日), 名古屋 (8 月 19 日)
 - ・北大主催の説明会等
入試説明会 (7 月 20 日), オープンキャンパス (8 月 5 日), 進学相談会 in 東京 (8 月 25 日), 進学相談会 in 大阪 (10 月 7 日)
 - 4-3 大学訪問におけるコーディネーター
都立立川・国立高校合同 北大キャンパスツアー (8 月 21 日)
 - 4-4 高校訪問
筑波大学附属坂戸高校 (9 月)
- 5) 高大連携授業聴講型公開講座
 - 5-1 高校訪問
札幌旭丘高校 (6 月 19 日), 札幌北高校 (6 月 19 日), 札幌西高校 (6 月 15 日), 札幌南高校 (6 月 15 日), 藤女子高校 (6 月 14 日), 札幌開成中等教育学校 (6 月 19 日)
 - 5-2 オリエンテーション
第 1 回 (9 月 19 日), 第 2 回 (9 月 21 日)
 - 5-3 講座 (9 月~2 月)
参加校 6 校 (旭丘, 北, 西, 南, 藤女子, 開成), 参加者 73 名, 開講講座 28 講座
 - 5-4 修了式
 - 5-5 報告書の発行
- 6) 学外の入試関連委員
大学入試センター全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会
- 7) 研究発表
 - ・「大学入学者選抜改革推進委託事業「国語」-個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究-」 (5 月 26 日, 全国大学入学者選抜研究連絡協議会)
- 8) SSH および SGH 委員等
 - ・SSH
山形興譲館 SSH 運営指導委員会 (6 月 28 日, 2 月 14 日), 立命館 SSH 運営指導委員会 (5 月 30 日, 12 月 14 日, 3 月 14 日 (予定)), 佐倉高校 SSH 運営指導委員会 (7 月 2 日, 3 月 (予定)), 釧路湖陵 SSH 運営指導委員会 (6 月 20 日, 1 月 31 日)
 - ・SGH
札幌開成中等教育学校 SGH 連携協力者
- 9) その他
 - 9-1 教員研修会
 - ・山形興譲館評価に関する教員研修 (7 月 15 日)
 - ・釧路湖陵高等学校「コンピテンス基盤型教育とは何か」 (6 月 5 日)
 - ・渋谷区西原小学校「コンピテンス基盤型教育とは何か」 (2 月 20 日)
 - 9-2 高等学校等委員
 - ・札幌南高等学校評議員会 (3 回)

9-3 学内 FD 協力等

- ・北大生態環境 TF 会議（8 回）,
- ・平成 30 年度北海道大学入学試験調査報告書（ラーサポと合同）
- ・平成 30 年度北海道大学新入生アンケート調査報告書（ラーサポと合同）

（3）大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

1) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

全学インターンシップ（全学教育科目「インターンシップ A（国内）」「インターンシップ B（国内）」の実施

- ・「インターンシップではじめる!!就活準備ガイダンス」：4月25日（水）
 - ・全学インターンシップ説明会：5月7日（月）、9日（水）
 - ・学生と企業等のマッチング：派遣学生 103 名（新渡戸カレッジ生を含む）
 - ・インターンシッププレ研修の実施：5月22日（火）、26日（土）、7月18日（水）
 - ・事前研修：7月3日（火）、4日（水）、10日（火）、11日（水）
 - ・派遣学生個人面談（1人約15分、92名）：7月17日（火）～31日（火）、函館キャンパス7月25日（水）
 - ・インターンシップ成果発表共有会：10月26日（金）
 - ・終了後のアンケート調査結果：将来のキャリア設計に「大いに役立つ」及び「役立つ」が96%、全体の満足度は「大いに満足」及び「満足」が95%
- インターンシップの質の向上を図るため、企業での実習期間を平成29年度までの「5日以上」から平成30年度は「8日以上」に引き上げた。

2) 経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施

- ・平成28年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを①の全学インターンシップの特別プログラムとして実施しているが、平成30年度は、花王、大林組各2名、野村證券、三井住友銀行、JFE スチール、第一生命、日本航空、ユニカミノルタ、みずほ証券各1名の計9社、11名の学生（すべて学部2年生）を派遣。
- ・5月参加希望学生の募集（50名の応募）
- ・事前研修、個人面談は①と合同で実施
- ・11月20日（火）に成果報告会を開催（派遣学生、企業、次年度派遣希望学生の参加）
- ・平成31年度については、「経済同友会インターンシップ推進協会」（仮称）が設立され、本学も参画する予定。

3) 新渡戸カレッジ、現代日本学プログラムなどとの連携・協力を通じたインターンシッププログラムの開発

- ・国際連携機構が中心となり実施している「国際インターンシップ」に対して、学生募集、事前研修等に対して協力。

4) キャリア教育科目（キャリアデザイン、大学と社会）の充実

①特別講義「キャリアデザイン」の実施

②特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生12名による講義を実施
- ・29年度から、新渡戸カレッジと共同実施し、12名の講師のうち7名の新渡戸カレッジフェローに講義をいただいた。

5) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

- ・文部科学省平成30年度委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業として採択された「分野別学修成果可視化と国際的分野間横断体系化による職業実践専門課程の質保証・向上」（九州大学受託）に参画し、グローバルな経済・社会環境の中で活躍できる専門的人材の養成のためのプログラム開発やその国際的通用性を高めるための基本的枠組みの開発的研究を行った。

(4) 地域社会と連携する大学づくり

1) 北海道大学公開講座(全学企画)の企画運営及びその将来像の調査研究

・平成30年度北海道大学公開講座(全学企画)「去る時代、来たる時代を考える」(7月2日~7月23日に計8回開催, 171名が受講)と, 平成31年度同講座の企画(「いま感じる、生かす、見つめなおす スポーツの力」)

・北海道大学の中期目標等に即した公開講座(全学企画)の企画運営方法に関する検討, 公開講座と連携した全学教育授業(一般教育演習)の開発と実践

2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

・地域社会と大学の連携のあり方に関する調査の一環として, 第40回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に参加(9月18日・19日, 宇都宮大学)

・地域住民による生涯学習への支援として, 北海道生涯学習審議会委員やさっぽろ市民カレッジ講師, 環境省EPO北海道運営協議会委員などを務めた。

【2】教育評価(総合IR室教学IR部門への支援)

・学生調査アンケートの実施, 分析, 学部への情報提供

・卒業生調査アンケートの実施, 分析, 学部への情報提供

・大学IRコンソーシアム IRシステムデータ登録に関する情報交換会 運営(5月23日)

・大学IRコンソーシアム会員校向けワークショップ・セミナー 運営(東京都 9月12日)

・大学IRコンソーシアム・大正大学合同シンポジウム「学士課程教育の質保証実現に向けてー全国規模の教学IRコミュニティを活用した教学評価体制の充実ー」運営(東京都 9月13日)

及びIR勉強会「学士課程教育の質保証実現に向けてー学習成果の可視化へのIRシステムの挑戦ー」運営(東京都 9月14日)

・アセスメントチェックリスト作成講習会 開催(10月4日・10月29日)

・平成29年度 北海道大学企業セミナー、公務員の仕事研究合同セミナー参加企業・団体アンケート分析報告(11月29日 教育改革室会議)

・大学IRコンソーシアム 2018年度IRシステムデータ登録講習会 運営(12月12日)

・授業アンケートWEB化支援

・学務部 IR勉強会への参加※

・全学教育授業評価アンケートの分析, 報告(ホームページで公開)

・ファクトブック編集への参加

・アセスメント・ポリシーの研究※

・平成31年度 大学院生調査実施の企画

・大学IRコンソーシアム 会員向け共通卒業生調査(試行)企画立案

※ジャーナル26号に「学生アンケート調査の調査項目」「米国のIR制度」「IRデータによる学生の分析」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

【1】全学教育

教養科目4コマ, 総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】大学院教育

理学院, 教育学院, 保健科学院, 環境科学院で開講

【3】大学院共通授業科目

PFFセミナー, PFF授業

5. 学協会等の活動支援

【1】IDE大学協会北海道支部の活動の支援(研究集会の企画等)

【2】アドミッションセンターの支援

【3】北海道地区FD・SD推進協議会の支援(総会の企画支援)

- 【4】 大学教育学会での課題研究（アクティブラーニング）、ワーキング（STEM教育）支援
 - ・現代のリベラルアーツとしての理数工系科目（STEM）の開発と教育実践のために
大学教育学会（筑波大学）ラウンドテーブル 司会（6月10日）
 - ・現代のリベラルアーツとしての理数工系科目（STEM）の開発と教育実践のために 大学教育学会課題研究集会 長崎国際大学 司会・発表（12月2日）

6. スーパーグローバル等への対応

- 【1】 高等教育研修センターの支援
- 【2】 IR活動によるサポート（カレッジやスクールの評価）、総合IR室の企画支援
- 【3】 TF研修ならびに教育力養成講座（PF）によるTF養成
- 【4】 サテライト・スクールへの参加
- 【5】 国際入試導入への支援
- 【6】 未来型人材育成選抜機構（仮称）の支援

7. 外部資金の獲得

- 【1】 平成28年度機能強化経費「機能強化促進分」（教育研究活動）、「未来型人材育成選抜試験の開発」（担当 鈴木 誠）：平成30年度予算3,486万円
- 【2】 平成28年度大学入学者選抜改革推進委託事業、「個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究～記述式問題を中心に～」（代表 鈴木 誠）：平成30年度予算2,483万円

平成 29 年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 108 号：2017 年 4 月 30 日 ・ 109 号：2017 年 9 月 29 日
- ・ 110 号：2018 年 1 月 31 日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第 25 号：2018 年 3 月 31 日発行予定

2. 研究員等の活動

【研究員】

- ・ 宇田川拓雄（流通科学大学教授）
研究テーマ：米国のコミュニティカレッジ教員の職務と FD の研究
ジャーナル 25 号に報告掲載予定。
- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
研究テーマ：高等教育の一般情報教育におけるプログラミング教育手法についての研究
ジャーナル 26 号に報告掲載予定。
- ・ 姫野 完治（教育学研究院），七戸 俊明（医学研究科消化 器外科），
木村 俊介（医学研究科解剖学講座 組織細胞学分野）
研究テーマ：入学者選抜におけるコンピテンシーに関する研究
ジャーナル 25 号に報告掲載予定。

【外国人招聘教員】

- ・ Erez LENCHNER (City University of New York - LaGuardia Community College)
講演会
「Public Use of IR Data in the US」 7/21(金)
「Practical use of IR data, and training researchers in charge of IR」 8/10(木)
「The Structure & Update of IR Data Warehouse (methodology)」 8/24(木)
「Using Administrative records to address current research questions in IR」 8/30(水)
ジャーナル 25 号に報告掲載予定。

3. 研究活動

【1】 教育支援

(1) FD, SD 関連（多くの場合高等教育研修センターと協力）

- ・ アクティブ・ラーニング導入ガイドの執筆，編集
- ・ 全学教育 TA 研修会 4 月 4 日（火）：267 名参加（修了者数）
- ・ 平成 29 年度第 1 回 FD 研修会 講演「シラバスで整える授業の骨格」 5 月 16 日（火）（札幌保健医療大学）：36 名参加
- ・ 第 32 回北海道大学教育ワークショップ 6 月 23 日（金）～24 日（土）：17 名参加
- ・ 講演会 「「Practical use of IR data, and training researchers in charge of IR」 8 月 10 日（木）：31 名参加
- ・ 平成 29 年度第 1 回北海道大学 T F 研修会 8 月 22 日（火）：39 名参加
- ・ 平成 29 年度 IDE 北海道地区大学セミナー「新しい教養教育の展開」 8 月 29 日（月）～30 日（火） 2 日間計 101 名参加（29 日：89 名，30 日：42 名）
- ・ 北海道 FD・SD フォーラム 2017 9 月 1 日（金）：98 名参加
- ・ シンポジウム「アクティブ・ラーニングは日本の教育を変えるのか」 9 月 2 日（土）：83 名参加
- ・ PFF Workshop 2017 9 月 4 日（月）～11 日（月）：35 名参加
- ・ 第 33 回北海道大学教育ワークショップ 9 月 14 日（木）～15 日（金）：21 名参加
- ・ 北海道地区大学 SD 研修「大学職員セミナー」 11 月 6 日（月）～7 日（火）：34 名参加
- ・ 平成 29 年度第 2 回 FD 研修会 講演「シラバスに関するグループディスカッション」 11 月 13 日（月）（札幌保健医療大学）：37 名参加

- ・第34回北海道大学教育ワークショップ 11月17日(金)～18日(土) : 15名参加
- ・平成29年度第2回北海道大学TF研修会 2月20日(火) 予定
- ・TFふり返り研修会 3月8日(木) 予定

※ジャーナル25号に「ワークショップ」についての報告掲載予定。

(2) 入学者選抜関連

- 1) コンピテンシーに基づく新入試の開発
 - ・コンピテンシー設計と過去問分析
 - ・コンピテンシー関連の企業研修との合同企画(人間力診断・ブラインドサッカー・マインドフルネス・問題解決思考力強化・データ思考力強化)
 - ・コンピテンシーサンプル問題の開発
 - ・教科書単語抽出
 - ・Webアドミッションシステムの準備
 - ・HPの開発準備
 - ・調査書の電子化・分析(約2500件), 新調査書のモデル作成
 - ・TGP入試のデザイン検討
 - ・国際科学オリンピック調査
 - ・北大入試改革フォーラム開催(5月22日)
 - ・入学者選抜における心理テスト導入に関する基礎的研究
- 2) 文部科学省委託研究: 個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究 3年間
 - 選定機関 北海道大学
 - 連携機関 東北大学, 九州大学, 長崎大学, 名古屋工業大学, 大学入試センター
 - ・全体会議, グループ会議, 文科省との経過報告, 文科省中間発表, 成果発表(日本テスト学会第15回大会8月20日), 他会議・報告等多数
- 3) 国際総合入試を含めたグローバル人材獲得のための新しい入試に関する研究
 - ・国際入試会議および調査分析
 - ・ISP入試会議
- 4) 入試広報活動に関するAC支援とそれらに関する調査研究
 - 進路相談
 - 4-1 進路講演
 - 札幌第一高校 4月13日, 旭川北高校 4月13日, 帯広柏葉 11月 日
 - Z会主催東日本難関大学合同説明会・相談会 2017(8月),
 - 札幌開成中等教育学校PTA,
 - 掛川西高校PTA(9月), 駿台予備校札幌校(10月), 代々木ゼミナール札幌校(11月), 道新主催進学相談会(12月)
 - 4-2 進路相談員
 - 朝日新聞社主催全国国公立・有名私大相談会 2017(東京)7月17日, (大阪) (名古屋) 7月16日, (横浜) 7月30日, (博多) 7月16日, (広島) 7月17日
 - Z会主催(広島)9月3日, 新潟 7月16日
 - 北大オープンキャンパス8月6日, 北大進学相談会(東京)8月19日, リクルート主催(仙台)10月3日, 北大進学相談会(大阪)10月8日,
 - フロムページ主催夢ナビライブ 2017(仙台)10月7日
 - 4-?都立立川・国立高校合同 北大キャンパスツアー 8月21日
 - 4-3 高校訪問
 - 旭川東(4月), 掛川西高校(9月), 磐田南高校(9月), 北見北斗高校(12月), 茗溪学園(8月), 筑波大学附属坂戸高校(9月)
 - 4-4 出前授業

掛川西高校（9月），磐田南高校（9月），札幌旭丘高校（11月）

5) 高大連携授業聴講型公開講座

5-1 高校訪問

札幌旭丘高校 6月15日，札幌北高校 6月12日，札幌西高校 6月13日，札幌南高校 6月12日，
藤女子高校 6月22日，札幌開成中等教育学校 6月13日

5-2 オリエンテーション

第1回 9月19日，第2回 9月21日

5-3 講座（9月～2月）

参加校 6校（旭丘，北，西，南，藤女子，開成），参加者 51名，開講講座 27講座

5-4 修了式

5-5 報告書の発行

6) 大学入試センター：全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会

7) 全国大学入学者選抜研究連絡協議会発表：

- ・「大学入学者選抜改革推進委託事業「国語」-個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究-」5月25日
- ・「多様な能力や資質を評価する入試の開発-北大コンピテンシーに基づく入試-」5月26日

8) 入学者選抜改革関連発表

- ・New Education EXPO in 東京：「多様な能力や資質を評価する入試の開発-北大コンピテンシーに基づく入試-」6月1日
- ・New Education EXPO in 大阪：「多様な能力や資質を評価する入試の開発-北大コンピテンシーに基づく入試-」6月15日

7) SSP（グローバルサイエンスキャンパス）

- ・平成29年度広報・選抜・運営などの業務（6月～7月）
- ・JSTヒアリング 8月8日，11月15日（JST）

SSH

サイエンスリンク 5月26日，山形興譲館 SSH運営指導委員会 6月28日，2月（予定），立命館 SSH運営指導委員会 5月30日，12月15日（SSH発表会），佐倉高校 SSH運営指導委員会 7月10日，3月22日予定，釧路湖陵 SSH打ち合わせ 10月14日

SGH

札幌開成中等教育学校 SGH連携協力者

8) その他

8-1 教員研修会

千葉県理科部会：「コンピテンス基盤型教育における評価とは」6月13日

山形興譲館評価に関する教員研修 2月15日

8-2 講演

- ・第50回記念 全国小学校理科研究協議会研究大会 東京大会：「コンピテンス基盤型理科教育 値は何か」10月27日
- ・東京学芸大学附属世田谷小学校理科校公開授業研究：「意欲を引き出す授業デザインとは何か」6月19日

平成29年度・東京学芸大学附属世田谷小学校研究発表会 2月3日

- ・北海道高等学校理科部会生物教育研究会講師（5月，月）

8-3 FD協力

北大生態環境TF会議（9回），

- ・平成29年度 北海道大学入学試験調査報告書（ラーサポと合同）
- ・平成29年度 北海道大学新入生アンケート調査報告書（ラーサポと合同）

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

- 1) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討
 - ・文部科学省平成 29 年度委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成」事業として採択された「職業教育・高等教育資格枠組みを通じたグローバルな専門人材養成のためのコンソーシアム」(九州大学受託)に参画し、グローバルな経済・社会環境の中で活躍できる専門的人材の養成のためのプログラム開発やその国際的通用性を高めるための基本的枠組みの開発的研究を行った。

- 2) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

全学インターンシップの実施

 - ・「インターンシップではじめる!!就活準備ガイダンス」: 4月 24 日 (月)
 - ・全学インターンシップ説明会: 5月 8 日 (月), 10 日 (水)
 - ・「インターンシップガイダンス」: 6月 6 日 (月), 20 日 (月)
 - ・学生と企業等のマッチング: 派遣学生 199 名 (新渡戸カレッジ生を含む)
 - ・インターンシッププレ研修の新規実施: 5月 25 日 (木), 27 日 (土), 7月 19 日 (水)
 - ・事前研修: 7月 4 日 (火), 5 日 (水), 11 日 (火), 12 日 (水), 函館キャンパスは 7月 13 日 (木)
 - ・派遣学生個人面談 (1 人約 10 分, 189 名): 7月 18 日 (火) ~8月 2 日 (水), 函館キャンパス 7月 28 日 (金)
 - ・インターンシップ成果発表共有会: 10月 27 日 (金)
 - ・終了後のアンケート調査結果: 将来のキャリア設計に「大いに役立つ」及び「役立つ」が 96%, 全体の満足度は「大いに満足」及び「満足」が 93%

- 3) 経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施
 - ・平成 28 年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを①の全学インターンシップの特別プログラムとして実施しているが、平成 29 年度は、三井住友銀行 3 名, 野村証券 3 名, 三菱ケミカル, 花王, JFE スチール, デュポン, 大林組, 第一生命, 日本板硝子, 日本航空各 1 名, 14 名の学生 (1 年生 1 名, 2 年生 13 名) を派遣。
 - ・5 月参加希望学生の募集 (34 名の応募)
 - ・事前研修, 個人面談は①と合同で実施
 - ・11 月 7 日 (火) に成果報告会を開催 (派遣学生, 企業, 次年度派遣希望学生の参加)
 - ・30 年度は 10 社 11 名の派遣予定

- 4) 新渡戸カレッジ, 現代日本学プログラムなどとの連携・協力を通じたインターンシッププログラムの開発
 - ・国際連携機構が中心となり実施している「国際インターンシップ」に対して, 学生の選考, 事前研修, 受入企業の開拓等に対して協力。
 - ・29 年度は 20 名の学生が参加。

- 5) キャリア教育科目 (キャリアデザイン, 大学と社会) の充実
 - ①特別講義「キャリアデザイン」の実施
 - ②特別講義「大学と社会」の実施
 - ・本学の卒業生 12 名による講義を実施
 - ・今年度から, 新渡戸カレッジとの共同実施し, 12 名の講師のうち 8 名の新渡戸カレッジフェローに講義をいただいた。

(4) 地域社会と連携する大学づくり

- 1) 北海道大学公開講座 (全学企画) の企画運営及びその将来像の調査研究
 - ・平成 29 年度北海道大学公開講座 (全学企画)「「非常識」が照らし出す私たちの未来」(7 月 3 日~7 月 24 日に計 8 回開催, 122 名が受講)と, 平成 30 年度同講座の企画
 - ・北海道大学の中期目標や近未来戦略に即した公開講座 (全学企画) の将来像に関する検討, 公開講座と連携した全学教育授業 (一般教育演習) の開発と実践

2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

- ・地域社会と大学の連携のあり方に関する調査の一環として、第39回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に参加(9月25日・26日、徳島大学)
- ・地域住民による生涯学習への支援として、北海道生涯学習審議会委員やさっぽろ市民カレッジ講師、環境省EPO北海道運営協議会委員などを務めた。

【2】教育評価(IRネットワーク推進室次いで総合IR室教学IR部門への支援)

- ・学生調査アンケートの実施、分析、学部への情報提供
- ・卒業生調査アンケートの実施、分析、学部への情報提供
- ・高等教育研修センター 講演「北海道大学におけるIRデータ活用の取り組み」(8月10日)
- ・IRシンポジウム「日本型大学IRの進化－IRコミュニティを活用した質保証システムの構築－」運営(東京都 12月5日)
- ・大学IRコンソーシアム会員校向けワークショップ・セミナー 運営(東京都 9月8日)
- ・大学IRコンソーシアム 2017年度IRシステムデータ登録講習会 運営(12月6日)
- ・授業アンケートWEB化支援
- ・学務部 IR勉強会への参加※
- ・北海道大学のIRの状況視察受入(ベネッセ 6月7日・29日)
- ・関西学院大学インタビュー(7月10日)
- ・IR講演(7月11日)
- ・北海道大学のIRの状況視察受入(筑波大学 7月13日)
- ・高等教育研修センター アクティブラーニングシンポジウム「アクティブラーニングは日本の教育を変えるのか」運営(9月2日)
- ・生涯学習系センター研究協議会 講演「教学IRの進展と大学生涯学習IRへの対応」(徳島 9月25・26日)
- ・北海道大学のIRの状況視察受入(東北大学 10月23日)
- ・北海道大学のIRの状況視察受入(香川大学 2月14日 予定)
- ・全学教育授業評価アンケートの分析、報告(ホームページで公開)
- ・新渡戸カレッジオフィスへの情報提供(データ説明, 分析, 分析結果提供)
- ・ファクトブック編集への参加
- ・アセスメント・ポリシーの研究※

※ジャーナル25号に「IR勉強会の成果」「アセスメント・ポリシー」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

【1】全学教育

教養科目4コマ, 総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】大学院教育

理学院, 教育学院, 保健科学院, 環境科学院で開講

【3】大学院共通授業科目

UCバークレーPFFセミナー, PFF授業

5. 学協会等の活動支援

【1】IDE大学協会北海道支部の活動の支援(研究集会8月28, 29日の企画, 報告書の編集等)

【2】アドミッションセンターの支援

【3】北海道地区FD・SD推進協議会の支援(総会9月1日の支援)

【4】大学教育学会での課題研究(アクティブラーニング), ワーキング(STEM教育)支援

・現代のリベラルアーツとしての理数工系科目(STEM)の開発と教育実践のために
大学教育学会(広島)ラウンドテーブル 司会(6月11日)

・現代のリベラルアーツとしての理数工系科目(STEM)の開発と教育実践のために 大学教育学会課題研究集会 関西国際大学(12月3日)

6. スーパーグローバル等への対応

- 【1】 高等教育研修センターの支援
- 【2】 IR 活動によるサポート（カレッジやスクールの評価），総合 IR 室の企画支援
- 【3】 TF 研修ならびに教育力養成講座(PFF)による TF 養成
- 【4】 サテライト・スクールへの参加
- 【5】 国際入試導入への支援
- 【6】 未来型人材育成選抜機構（仮称）の支援

7. 外部資金の獲得

- 【1】 平成 26 年度グローバルサイエンスキャンパス，「地球と生命を理解する開拓力の開発」
（担当 鈴木 誠）：平成 29 年度予算 3,250 万円
- 【2】 平成 28 年度機能強化経費「機能強化促進分」（教育研究活動），「未来型人材育成選抜試験
の開発」（担当 鈴木 誠）：平成 29 年度予算 3,994 万円
- 【3】 平成 28 年度大学入学者選抜改革推進委託事業，「個別学力試験「国語」が測定する資質・
能力の分析・評価手法に関する研究～記述式問題を中心に～」（代表 鈴木 誠）：平成 29 年
度予算 3,409 万円

平成 28 年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 105 号：2016 年 4 月 30 日 ・ 106 号：2016 年 8 月 31 日
- ・ 107 号：2016 年 12 月 28 日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第 24 号：2017 年 3 月 31 日発行予定

2. 研究員の活動

- ・ 宇田川拓雄（北海道教育大学函館校教授）
研究テーマ：スコラリーティーチャーと高度専門職員の研究
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。
- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
岡部成玄（北海道大学・名誉教授）
研究テーマ：高等教育の一般情報教育における教材と教育手法についての研究
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。
- ・ 姫野 完治（教育学研究院），七戸 俊明（医学研究科消化 器外科），
木村 俊介（医学研究科解剖学講座 組織細胞学分野）
研究テーマ：入学者選抜におけるコンピテンシーに関する研究
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。
- ・ Lee, Heewon（ソウル国立大学准教授）
研究テーマ：北海道大学とソウル国立大学学生の学習過程の比較分析
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。

3. 研究活動

【1】 教育支援

(1) FD, SD 関連（※印の研修は高等教育研修センター主催か共催）

- ・ 全学教育 TA 研修会 4 月 5 日（火）：235 名参加 ※
- ・（文系教員向け）クリッカーの使い方入門研修 5 月 26 日（木）：6 名参加 ※
- ・ 第 29 回北海道大学教育ワークショップ 6 月 17 日（金）～18 日（土）：21 名参加 ※
- ・ 講演 学習方略～Active Learning 入門～日胆地区（胆振・日高地域）看護教員研修会（苫小牧） 8 月 9 日 ※
- ・ IDE 北海道地区大学セミナー「IR の衝撃」企画と司会など 8 月 29 日，30 日
- ・ PFF Workshop 2016(2nd) 9 月 5 日（月）～12 日（月）：10 名参加
- ・ 国際シンポジウム「学生と共に創る教育の質保証～SA, TA, PFF などのこれから～」 9 月 8 日（木）：50 名参加 ※
- ・ 第 30 回北海道大学教育ワークショップ 9 月 13 日（火）～14 日（水）：27 名参加 ※
- ・ Higher Education Academy 訪問調査：英国ヨーク 9 月 19～23 日
- ・ 平成 28 年度北海道地区 FD・SD 推進協議会総会 10 月 18（火）～19 日（水）：50 名参加
- ・ 第 31 回北海道大学教育ワークショップ 11 月 18 日（金）～19 日（土）：16 名参加 ※
- ・ 講演 質の高い大学院教育を創造する～北海道大学大学院における FD の実践から学ぶ FD 教育セミナー（札幌医科大学保健医療学部）（12 月 12 日） ※
- ・ 北海道大学における TF 制度 龍谷大学文学部 FD 12 月 21 日 ※
- ・ 平成 28 年度第 2 回北海道大学 TF 研修会 2 月 14 日（予定） ※
- ・ TF 振り返り研修会 3 月 1 日（予定） ※
- ・ 新渡戸スクールFD 3 月 2 日（予定）
- ・ 講演「北海道大学における授業英語化サポートプログラム」（帯広畜産大学）3 月 3 日（予定） ※

- ・講演「Active Learning 入門」（上川宗谷地区看護教員研修会）3月17日（予定）

※ジャーナル 24 号に「ワークショップ」 「Higher Education Academy」 についての報告掲載予定。

（2）入学者選抜関連

- 1) コンピテンシーに基づく新入試の開発
 - ・コンピテンシー設計と過去問分析
 - ・コンピテンシー関連の企業研修の企画（人間力診断・ブラインドサッカー・マインドフルネス・問題解決思考力強化・データ思考力強化）→FDセンターとの共催を検討
 - ・コンピテンシーサンプル問題の開発
 - ・教科書単語抽出
 - ・Web アドミッションシステムの準備
 - ・HP の開発準備
 - ・調査書の電子化・分析（約 2500 件）、新調査書のモデル作成
 - ・TGP 入試のデザイン検討
 - ・国際科学オリンピック調査
 - ・北大入試改革フォーラム開催の準備（5月22日予定）
 - ・入学者選抜における心理テスト導入に関する基礎的研究
- 2) 文部科学省委託研究：個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究 3年間
選定機関 北海道大学
連携機関 東北大学、九州大学、長崎大学、名古屋工業大学、大学入試センター
9月より月二回の会議と分析作業
- 3) 国際総合入試を含めたグローバル人材獲得のための新しい入試に関する研究
 - ・国際入試会議および調査分析
 - ・ISP 入試会議
- 4) 入試広報活動に関する AC 支援とそれらに関する調査研究
進路相談
- 4-1 進路講演
旭川北高校 4月12日，獣医学部説明会，帯広柏葉 11月10日
Z会主催東日本難関大学合同説明会・相談会 2016（8月），札幌開成中等教育学校 PTA，掛川西高校 PTA（9月），駿台予備校札幌校（10月），代々木ゼミナール札幌校（11月），道新主催進学相談会（12月）
- 4-2 進路相談員
朝日新聞社主催全国国公立・有名私大相談会 2016（東京）（横浜）7月31日，（博多）7月17日，（広島）7月18日
Z会主催（広島）8月28日、新潟
北大進学相談会（東京）8月20日，北大セミナー（函館）9月6日，7日，リクルート主催（仙台）10月3日，北大進学相談会（名古屋・大阪）10月8日～9日，北大セミナー（旭川）（9月）
札幌月寒高校校内大学ガイダンス 12月1日
- 4-3 高校訪問
旭川東（4月），掛川西高校（9月），磐田南高校（9月），北見北斗高校（12月）
- 4-4 出前授業
立命館慶祥（5月），掛川西高校（9月），磐田南高校（9月），札幌旭丘高校（11月）
- 5) 高大連携授業聴講型公開講座
- 5-1 高校訪問

札幌旭丘高校 6月 27 日, 札幌北高校 6月 28 日, 札幌西高校 7月 7 日, 札幌南高校 6月 29 日, 藤女子高校 7月 6 日

5-2 オリエンテーション

第 1 回 9月 21 日, 第 2 回 9月 26 日

5-3 講座 (9月~2月)

参加校 2 校 (北, 藤女子), 参加者 18 名 (受講取り消し 7 名), 開講講座 14 講座

5-4 修了式

5-5 報告書の発行

6) 大学入試センター全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会

7) SSP (グローバルサイエンスキャンパス)

・平成 28 年度広報・選抜・運営などの業務 (6月~7月)

・JST ヒアリング 8月 (本学), 11月 8 日 (JST)

SSH

サイエンスリンク 5月 26 日, 山形興譲館 SSH 運営指導委員会 6月 28 日, 2月 (予定), 立命館 SSH 運営指導委員会 5月 20 日, 12月 13 日, 佐倉高校 SSH 運営指導委員会 7月 10 日, 3月 22 日 予定, 釧路湖陵 SSH 運営指導委員会 6月 19 日, 2月 22 日 (予定)

SGH

札幌開成中等教育学校 SGH 連携協力者

8) その他

8-1 教員研修会

立命館慶祥評価に関する研修会 9月 11 日, 形興譲館評価に関する教員研修 5月 24 日, 山形興譲館授業設計に関する教員研修会 2月 22 日, 秋田市立教育研究所教員研修会 8月 20 日

8-2 講演

・生徒の意欲を引き出すには何をすべきか (神奈川県二宮市民ホール) 8月 4 日

・北海道高等学校理科部会生物教育研究会講師 (5月、月)

8-3 FD 協力

北大生態環境 TF 会議 (9 回), 北海道地区国立大学連携教育機構 FD (2 月)

・平成 28 年度 北海道大学入学試験調査報告書 (ラーサポと合同)

・平成 28 年度 北海道大学新入生アンケート調査報告書 (ラーサポと合同)

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

1) 卒業生調査、学生調査、企業調査の総合的分析の実施

・平成 27 年度総長室事業推進経費によるプロジェクト研究「北大生のジェネリックスキルの把握と学習・生活状況、成績との関連に関する定量的研究」により PROG (コンピテンシー、リテラシーの定量的把握のための手法) とキャリア意識アンケート調査の結果をもとに学会における成果発表と高等教育ジャーナルでの報告予定

2) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

・文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 (九州大学受託) に参画。1月 26 日 (木) ~28 日 (土) の国際カンファレンス「第三段階教育における職業教育と学位・資格のアジア型アプローチ」などにおいて報告。

3) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

①全学インターンシップの実施

・全学インターンシップ説明会: 4月 18 日 (月)、20 日 (水) 425 名参加

・「インターンシップではじめる!! 就活準備ガイダンス」: 4月 27 日 (水)

・「インターンシップガイダンス」: 6月 6 日 (月)、20 日 (月)

・学生と企業等のマッチング: 派遣学生 222 名 (新渡戸カレッジ生を含む)

・事前研修: 7月 6 日 (水)、12 日 (火)、13 日 (水)、19 日 (火)、函館キャンパスは 7 月

20日(水)

- ・派遣学生個人面談(1人約10分、222名):7月21日(木)~8月5日(金)、函館キャンパス7月29日(金)

- ・インターンシップ成果発表共有会:10月28日(金)

- ・終了後のアンケート調査結果:将来のキャリア設計に「大いに役立つ」及び「役立つ」が96%、全体の満足度は「大いに満足」及び「満足」が93%

②経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施

- ・平成28年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを①の全学インターンシップの特別プログラムとして実施し、野村證券2名、富士ゼロックス、三菱樹脂、三井住友銀行、出光興産、花王、JFEスチール各1名、8名の学生(1年生2名、2年生6名)を派遣。

- ・5月24日付け日本経済新聞1面トップに「長期インターン産学連携」「大学1年から就業体験」「花王や北大など17校・11社」と大きく報道。

- ・5月参加希望学生の募集(17名の応募)

- ・事前研修、個人面談は①と合同で実施

- ・11月28日(月)に成果報告会を開催(派遣学生、企業、次年度派遣希望学生の参加)

- ・29年度は10社14名の派遣予定

- ・同取組は高等教育ジャーナルにおいて報告予定

③海外インターンシップへの参画

- ・平成28年度より国際連携機構が中心となり試行する「海外インターンシップ」の実施に対して、検討WGメンバーとして参画

- ・28年度は4名の学生が参加。学生の選考、事前研修、受入企業の開拓等に対して協力。

4) 新渡戸カレッジ、現代日本学プログラムなどとの連携・協力を通じたインターンシッププログラムの開発

①海外インターンシップの検討(再掲)

②現代日本学プログラムにおけるインターンシップの実施(平成29年度以降)に向けた検討など

5) キャリア教育科目(キャリアデザイン、大学と社会)の充実

①特別講義「キャリアデザイン」の実施

②特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生10名による講義を実施

- ・来年度以降、新渡戸カレッジとの共同実施に向けて検討

(4) 地域社会と連携する大学づくり

1) 北海道大学公開講座(全学企画)の企画運営及びその将来像の調査研究

- ・平成28年度北海道大学公開講座(全学企画)「国のかたち」を案ずる時代の知恵

- (7月4日~7月25日に計8回開催、101名が受講)と、平成29年度同講座の企画

- ・北海道大学の中期目標や近未来戦略に即した公開講座(全学企画)の将来像に関する検討、公開講座と連携した全学教育授業(一般教育演習)の開発と実践

※ジャーナル24号に「全学型公開講座を活用した大学1年生向けの演習授業」についての報告掲載予定

2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

- ・地域社会と大学の連携のあり方に関する調査の一環として、第38回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に参加(9月26日・27日、香川大学)

- ・地域住民による生涯学習への支援として、道生涯学習審議会委員や札幌市社会教育委員、札幌市生涯学習推進検討会議委員、さっぽろ市民カレッジ「ご近所先生」研修講師などを務めた。

【2】 教育評価（IR ネットワーク推進室）

- ・ 学生調査アンケートの実施，分析（2017年3月にHPへ基礎集計結果を掲載予定）
- ・ 卒業生調査アンケートの実施，分析（2017年3月にHPへ基礎集計結果を掲載予定）
- ・ 講演「教学IRの組織的導入とカリキュラム改革」第66回東北・北海道地区大学高等等・共通教育研究会（札幌）（2016年8月26日）
- ・ シンポジウム「北海道におけるIRの展開」 2016年度北海道地区IDE大学セミナー（8月30日）
- ・ 講演「教学IRから分かる学部教育の現状」第2回HUCIフォーラム「海外大学との英語による協働教育をどう進めるかー学内の好事例と今後の課題」（札幌）（12月1日）
- ・ IRネットワーク推進室 視察受入（名古屋大学 12月8日）
- ・ 全学教育授業評価アンケートの分析，報告（ホームページで公開）
- ・ 大学院生アンケートの実施，分析（新渡戸スクールオフィスへの報告）
- ・ 認証評価に関する分析と資料の提供（要望部局へ報告）
- ・ 新渡戸カレッジオフィスへの情報提供（データ説明，分析，分析結果提供）
- ・ 総合IR室への情報提供（データ説明，分析，分析結果提供）
- ・ 総長，副学長への各種データの分析結果説明
- ・ ファクトブック編集への参加
- ・ 8大学連携事業 シンポジウム，外部評価委員会開催（2017年2月16日予定）

※ジャーナル24号に「IR結果の日韓比較」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

【1】 全学教育

教養科目4コマ，総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】 大学院教育

理学院，教育学院，保健科学院，環境科学院で開講

【3】 大学院共通授業科目

UCバークレーPFFセミナー

5. 学協会等の活動支援

【1】 IDE大学協会北海道支部の活動の支援（研究集会8月29，30日の企画，報告書の編集等）

【2】 アドミッションセンターの支援

【3】 北海道地区FD・SD推進協議会の支援（総会10月18，19日の支援）

【4】 大学教育学会での課題研究（アクティブラーニング），ワーキング（STEM教育）支援

・ 現代のリベラルアーツとしての理数工系科目（STEM）の開発と教育実践のために
大学教育学会（大阪）ラウンドテーブル 司会（6月12日）

・ 国際連携によるSTEMプロジェクト推進のための検討会 司会 関西国際大学 尼崎キャンパス（11月11日）

・ 現代のリベラルアーツとしての理数工系科目（STEM）の開発と教育実践のために 大学教育学会課題研究集会 千葉大学（12月11日）

6. スーパーグローバル等への対応

【1】 高等教育研修センターの支援

【2】 IR活動によるサポート（カレッジやスクールの評価），総合IR室の企画支援

【3】 TF研修ならびに教育力養成講座（PFF）によるTF養成

【4】 サテライト・スクールへの参加

【5】 国際入試導入への支援

【6】 未来型人材育成選抜機構（仮称）の支援

7. 外部資金の獲得

- 【1】平成 24 年度採択 文部科学省大学間連携共同教育推進事業「教学評価体制（I R ネットワーク）による学士課程教育の質保証」、北大が 8 大学の代表校（代表 山口総長，担当 細川敏幸）：28 年度予算 3,042 万円
- 【2】平成 26 年度グローバルサイエンスキャンパス，「地球と生命を理解する開拓力の開発」代表 山口総長，担当 鈴木誠：28 年度予算 3,500 万円
- 【3】平成 28 年度機能強化経費「機能強化促進分」（教育研究活動）、「未来型人材育成選抜試験の開発」（代表 山口総長、担当 鈴木誠）：平成 28 年度予算 5,986 万円
- 【4】平成 28 年度大学入学者選抜改革推進委託事業、「個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究～記述式問題を中心に～」（代表 山口総長、担当 鈴木誠）：平成 28 年度予算 3,700 万円

平成 27 年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 102 号：2015 年 4 月 30 日 ・ 103 号：2015 年 9 月 30 日
- ・ 104 号：2016 年 1 月 30 日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第 23 号：2016 年 3 月 31 日発行予定

2. 研究員の活動

- ・ 宇田川拓雄（北海道教育大学函館校教授）
研究テーマ：PF 与 FD の連携プログラムの研究開発
ジャーナル 23 号に報告掲載予定。
- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
岡部成玄（北海道大学・名誉教授）
研究テーマ：高等教育における一般情報教育の在り方
ジャーナル 23 号に報告掲載予定。
- ・ 大学における SD のあり方に関する研究会
大学職員セミナー報告書を年度内に印刷予定。
- ・ 地域住民の生涯学習への大学の参画に関する研究会
報告書を印刷予定。

3. 研究活動

【1】 教育支援

（1）FD, SD 関連（主催は全て高等教育研修センター）

- ・ 全学教育 TA 研修会 4 月 2 日（木）：333 名参加
- ・ 平成 26 年度総長室事業推進経費によるプロジェクト研究成果発表ワークショップ
5 月 19 日（火）、21 日（木）：延べ 66 名参加
- ・ 第 26 回北海道大学教育ワークショップ 6 月 19（金）～20 日（土）：29 名参加
- ・ 第 2 回新任教員向けキャンパスツアー 8 月 11 日（火）：29 名参加
- ・ アクティブ・ラーニング導入ワークショップ 9 月 1 日（火）：44 名（学外 22 名）参加
- ・ 第 27 回北海道大学教育ワークショップ 9 月 8 日（火）～9 日（水）：35 名（学外 8 名）参加
- ・ 平成 27 年度第 1 回 TF 研修会 9 月 17 日（木）：56 名参加
- ・ 教育情報システム（ELMS）講習会 10 月 9 日（金）：31 名参加
- ・ 「学生の主体的な学習を促す授業スキル」ワークショップ 10 月 14 日（水）：35 名（学外 14 名）参加
- ・ 北海道地区大学 SD 研修「大学職員セミナー」 10 月 28 日（水）～29 日（木）：37 名（学外 30 名）参加
- ・ 英語発音力講座 11 月 14 日（土）、16 日（月）：延べ 196 名（学外 3 名）参加
- ・ 第 28 回北海道大学教育ワークショップ 11 月 20 日（金）～21 日（土）：20 名（学外 3 名）参加
- ・ 学生の学習を促進する少人数演習型授業のためのコースデザインワークショップ
12 月 5 日（土）：9 名（学外 6 名）参加
- ・ ルーブリック評価スタートアップ研修 1 月 18 日（月）：55 名（学外 30 名）参加
- ・ シンポジウム「FD の実質化に向けた協力体制の構築」 2 月 12 日（金）：81 名（学外 48 名）参加
- ・ 平成 27 年度第 2 回 TF 研修会 2 月 18 日（木）：74 名（学外 2 名）参加申込
- ・ マネジメント能力開発ワークショップ「プロジェクト・マネジメント入門」
2 月 23 日（火）：25 名（学外 7 名）参加申込

- ・アクティブ・ラーニング入門ワークショップ 3月2日（水）：48名（学外23名）参加
- ・TF 振り返り研修会 3月9日（水）：79名参加申込
- ・PFF 集中講義 3月14日（月）～18日（金）：19名受講申込
- ・Teaching in English ワークショップ 3月29日（火）：48名（学外5名）参加申込
- ・部局長研修会：月1回程度全9回，部局長等連絡会議後そのままの会場で開催

※ジャーナル23号に「ワークショップ」についての報告掲載予定。

（2）入学者選抜関連

1) コンピテンシーアンケート調査，NTT データ北海道との研究会（5回）

2) 北大コンピテンス研究会

11月12日，12月9日，12月17日，12月28日，1月5日，2月26日

3) 進路相談

①進路講演

旭川北高校（4月11日），獣医学部説明会（4月24日），札幌南高校（6月22日）
Z会主催東日本難関大学合同説明会・相談会2015（8月），札幌開成中等教育学校PTA（9月14日），都立国立，都立立川，都立国分寺，都立国際合同北大説明会（9月29日），掛川西高校PTA（9月），帯広柏葉高校PTA（9月），駿台予備校札幌校（10月），代々木ゼミナール札幌校（11月），道新主催進学相談会（12月）

②進路相談員

朝日新聞社主催全国国公立・有名私大相談会2015（横浜）（7月26日），北大進学相談会（東京）（8月22日），北大セミナー（函館）（9月6日～7日），リクルート主催（仙台）（10月2日～3日），北大進学相談会（名古屋・大阪）（10月10日～11日），北大セミナー（帯広）（10月）

③高校訪問

函館中部（5月），ラ・サール（5月），市立函館（5月），白百合女子中・高（5月），遺愛女子（5月），掛川西高校（9月），磐田南高校（9月），北見北斗高校（12月）

④出前授業

立命館慶祥（5月23日），掛川西高校（9月），磐田南高校（9月），札幌旭丘高校（11月）

4) 高大連携授業聴講型公開講座

①高校訪問

札幌旭丘高校，札幌北高校（7月28日），札幌開成高校，札幌西高校，札幌南高校（7月30日），藤女子高校（7月31日）

②高校説明会

札幌北高校（8月31日）

③オリエンテーション

第1回（9月18日），第2回（9月25日）

④講座（9月～2月）

参加校5校（北，南，西，旭丘，藤女子），参加者46名（受講取り消し0名），開講講座24

⑤報告書の発行

5) GSC (グローバルサイエンスキャンパス)

- ・平成 27 年度広報・選抜・運営などの業務 (6 月～7 月)
- ・JST ヒアリング 8 月 4 日 (本学), 12 月 18 日 (JST)
- ・横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校聞き取り調査 1 月 12 日

6) SSH (スーパーサイエンスハイスクール), SGH (スーパーグローバルハイスクール)

①SSH

- サイエンスリンク (5 月 26 日), 山形興譲館 SSH 運営指導委員会 (5 月 24 日, 2 月 22 日), 立命館 SSH 運営指導委員会 (5 月 23 日, 12 月 15 日), 佐倉高校 SSH 運営指導委員会 (7 月 10 日), 釧路湖陵 SSH 運営指導委員会 (6 月 19 日, 2 月 25 日)

②SGH

- 札幌開成中等教育学校 SGH 連携協力者 (5 月 22 日)

7) その他

①教員研修会

- 立命館慶祥評価に関する研修会 (9 月 11 日), 山形興譲館評価に関する教員研修 (5 月 24 日), 山形興譲館授業設計に関する教員研修会 (2 月 22 日), 秋田市立教育研究所教員研修会 (8 月 20 日)

②講演

- ・21 世紀型学力と心の教育 (札幌市民ホール) (5 月 16 日)
- ・北海道高等学校理科部会研究会講師 (7 月, 11 月)

③FD 協力

- 医学部保健学科 FD (4 月), 北大生態環境 TF 会議 (9 回), 教育連携機構 FD (2 月)
- ・平成 27 年度 北海道大学入学試験調査報告書 (ラーニングササポーター部門と合同)
- ・平成 27 年度 北海道大学新入生アンケート調査報告書 (ラーニングササポーター部門と合同)

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

1) 卒業生調査, 学生調査, 企業調査の総合的分析の実施

- ・平成 27 年度総長室事業推進経費によるプロジェクト研究「北大生のジェネリックスキルの把握と学習・生活状況, 成績との関連に関する定量的研究」により PROG (コンピテンシー, リテラシーの定量的把握のための手法) とキャリア意識アンケート調査の実施 (延べ約 500 名)

※ジャーナル 23 号に「ジェネリック・スキルの把握」について報告掲載予定

2) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

- ・フィンランド調査 (学位・職業資格枠組み) 10 月 3 日 (土) ～10 日 (土)
- ・中国調査 (キャリア支援) 2 月 29 (日) ～3 月 6 日 (日)

3) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

①全学インターンシップの実施

- ・全学インターンシップ説明会: 4 月 20 日 (月), 22 日 (水) 約 500 名参加
- ・学生と企業等のマッチング
第 1 次: 5 月 25 日 (月) 124 名, 第 2 次: 6 月 1 日 (月) 19 名, 第 3 次: 6 月 22 日 (月) 22 名, 第 3 次以降 24 名, 計派遣学生 189 名 (新渡戸カレッジ生を含む) 事前研修: 7 月 3 日 (金), 7 日 (火), 10 日 (金), 14 日 (火)
- ・派遣学生個人面談 (1 人約 10 分, 189 名): 7 月 16 日 (木) ～8 月 10 日 (月), 函館キャンパス 7 月 29 日 (水)
- ・インターンシップ成果報告会: 11 月 4 日 (水)

- ・終了後のアンケート調査結果:将来のキャリア設計に「大いに役立つ」及び「役立つ」が94%,
全体の満足度は「大いに満足」及び「満足」が93%

②海外インターンシップの検討

- ・平成28年度より国際本部が中心となり試行する「海外インターンシップ」の検討に参画

③学部1~2年生の長期インターンシップの検討

- ・平成28年度より実施予定の学部1~2年生の長期インターンシップの実施に向けて経済同友会との検討・調整

4) キャリア教育科目(キャリアデザイン, 大学と社会)の充実

①特別講義「キャリアデザイン」の実施

②特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生9名による講義を実施

5) 新渡戸カレッジ, 現代日本学プログラムなどとの連携・協力を通じた研究開発課題の探索

①海外インターンシップの検討(再掲)

②現代日本学プログラムにおけるインターンシップの実施(平成29年度)に向けた検討, 受入企業等との調整の実施

(4) 地域社会と連携する大学づくり

1) 北海道大学公開講座(全学企画)の企画運営及びその将来像の調査研究

- ・平成27年度北海道大学公開講座(全学企画)「人と環境が抱える難問~その解決の最前線~」(7月=120名受講)と, 平成28年度同講座の企画

- ・北海道大学の中期目標や近未来戦略に即した公開講座(全学企画)の将来像に関する検討

※ジャーナル23号に「研究総合大学における全学型公開講座の運営動向」について報告掲載予定

2) 遠友学舎炉辺談話の実施及び生涯学習学友会の運営

- ・遠友学舎炉辺談話番外編3月10, 23日(予定)
- ・2015年度北海道大学公開講座「生涯学習計画セミナー」
「社会教育と学校との連携を再考する」3月26日(予定)

3) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

- ・地域社会と大学の連携のあり方に関する調査の一環として, 第37回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に参加(9月10日・11日, 金沢大学)
- ・地域住民による生涯学習への支援として, 道生涯学習審議会委員や札幌市, 石狩市の社会教育委員を務めたほか, 道立生涯学習推進センター運営協議会, 道民カレッジ「ほっかいどう学」大学インターネット講座実行委員会, さっぽろ市民カレッジ企画委員会等に参画

【2】教育評価(IRネットワーク推進室を支援)

- ・学生調査アンケートの実施, 分析(2016年3月にHPへ基礎集計結果を掲載予定)
- ・卒業生調査アンケートの実施, 分析(2016年3月にHPへ基礎集計結果を掲載予定)
- ・IRネットワーク推進室 視察受入
(2015年8月6日株式会社イトーキ・創価大学, 2015年12月21日徳島大学, 2016年1月21日横浜国立大学, 2016年1月28日くらしき作陽大学)
- ・授業評価アンケートの分析, 報告
- ・大学院生アンケートの実施, 分析(2016年3月基礎集計終了予定)
- ・認証評価に関する分析と資料の提供
- ・新渡戸カレッジオフィスへの情報提供(データ説明, 分析, 分析結果提供)
- ・総合IR室への情報提供(データ説明, 分析, 分析結果提供)
- ・総長, 副学長への各種データの分析結果説明
- ・大学IRコンソーシアム ワークショップ開催(2015年10月23日16大学23名参加)

- ・大学 IR コンソーシアム セミナー開催 (2015 年 10 月 24 日 43 校 54 名参加)
※ジャーナル 23 号に「IR 活動」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

- 【1】 全学教育
教養科目 4 コマ, 総合科目及び一般教育演習 12 コマ開講
- 【2】 大学院教育
理学院, 教育学院, 保健科学院, 地球環境科学研究科で開講
- 【3】 大学院共通授業
UC バークレー-PFF セミナー

5. 学協会等の活動支援

- 【1】 IDE 大学協会北海道支部の活動の支援 (研究集会 8 月 27, 28 日の企画, 報告書の編集等)
- 【2】 アドミッションセンターの支援
- 【3】 北海道地区 FD・SD 推進協議会の支援 (総会 12 月 17 日の支援)

6. スーパーグローバル等への対応

- 【1】 高等教育研修センターの設置, 全国共同利用施設の申請と認可
- 【2】 IR 活動によるサポート, 総合 IR 室の企画支援
- 【3】 TF 研修ならびに教育力養成講座(PFF)による TF 養成
- 【4】 サテライト・スクールへの参加
- 【5】 国際入試導入への支援
- 【6】 未来型人材育成選抜機構 (仮称) の支援

7. 外部資金の獲得

- 【1】 平成 24 年度採択 文部科学省大学間連携共同教育推進事業「教学評価体制 (IR ネットワーク) による学士課程教育の質保証」, 北大が 8 大学の代表校 (代表 山口総長, 担当 細川敏幸): 27 年度予算 4,158 万円
- 【2】 平成 26 年度グローバルサイエンスキャンパス, 「地球と生命を理解する開拓力の開発」代表 山口総長, 担当 鈴木誠: 27 年度予算 3,500 万円

8. 研究業績一覧 (2015~2016)

木村 純

[論文他]

1. 地域住民による「居場所」づくりの学習の意義と課題
ー札幌市西区西町における市民講座「ふくまち拠点を地域の居場所に」の実施を踏まえてー (札幌市生涯学習センター『市民講座「ふくまち拠点を地域の居場所に」実施報告書』3~13 頁, 2016 年 3 月予定) 木村純
2. 地域住民による地域をみかく学習と社会教育委員の役割
ー石狩市厚田区におけるワークショップ「厚田を石狩市の宝に」を実施して (石狩市社会教育委員の会議『市民と学ぶ講座実施報告書』石狩市教育委員会, 3~11 頁, 2016 年 3 月予定) 木村純
3. 研究総合大学における全学型公開講座の運営動向
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中
三上直之, 木村純, 飯田直弘, 児玉直樹
4. 平成 27 年度北海道大学教育ワークショップの取り組み
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中
山本 堅一, 細川 敏幸, 山田 邦雅, 飯田 直弘, 三上 直之, 鈴木 誠, 木村 純, 亀野 淳

[著書その他]

1. 美土路達雄—地域住民の生活と学習に深く根ざす研究と実践
(千野陽一編『人物でつづる戦後社会教育』国土社, 31~37 頁, 2015 年 8 月)
木村純

鈴木 誠

[論文他]

1. フィンランドのコンピテンス基盤型理科教育
(化学と教育, 63(10), 口絵 27 及び 476-480, 2015, 10, 日本化学会)
鈴木 誠
2. フィンランドの大学入学資格試験「生物」における基礎的分析
(大学入試研究ジャーナル, 26, 161-168, 2015. 3, 大学入試センター)
鈴木 誠
3. シラバス作成型 FD 研修会の評価法—北海道大学における 2014 年度の FD 改善を通じた考察—
(高等教育ジャーナル—高等教育と生涯学習— 22, 43-54, 2015)
山田邦雅, 鈴木誠, 細川敏幸, 池田文人, 飯田直弘
4. 北海道大学ポスト A0 入試の創造—高大連携に基づく新たな推薦入試の可能性—
(『高等教育ジャーナル—高等教育と生涯学習』No. 22, 109-121, 2015)
鈴木誠, 池田文人, 飯田直弘ほか
5. コンピテンスに基づく新しい教育課程の創造
(理科の教育, 65 (2) 21-26, 2016. 2, 日本理科教育学会)
鈴木 誠
6. 平成 27 年度北海道大学教育ワークショップの取り組み
(高等教育ジャーナル—高等教育と生涯学習— 23, 2016) 印刷中
山本 堅一, 細川 敏幸, 山田 邦雅, 飯田 直弘, 三上 直之, 鈴木 誠, 木村 純,
亀野 淳

細川敏幸

[英文 論文]

1. Effects of peat fires on the characteristics of humic acid extracted from peat soil in Central Kalimantan, Indonesia *
Yustiawati, Kihara, Y., Sazawa, K., Kuramitz, H., Kurasaki, M., Saito, T., Hosokawa, T., Syawal, M. S., Hendri I, L. W. and Tanaka, S.
(Environ. Sci. Pollut. Res., 22(4), 2384-2395, 2015)
2. Humic acid induces the endothelial nitric oxide synthase phosphorylation at Ser1177 and Thr495 via Hsp90 α and Hsp90 β upregulation in human umbilical vein endothelial cells *
(Environmental Toxicology, 30(2), 223-231, 2015)
Tanaka, M., Miyajima, M., Hishioka, N., Nishimura, R., Kihara Y., Hosokawa, T., Kurasaki, M., Tanaka, S. and Saito, T.
3. Vulnerability Assessment of Surface Water Quality with an Innovative Integrated Multi-Parameter Water Quality Index (IMWQI) *
(Pollution, 1(3), 333-346, 2015)
Sikder, M. T., Tanaka, S., Saito, T., Hosokawa, T., Gumiri, S. 5, Ardianor, Uddin, M. K., Tareq, S. M., Shammi, M., Kamal, A. K. I. and Kurasaki, M.

[日本語 論文他]

1. シラバス作成型 FD 研修会の評価法—北海道大学における 2014 年度の FD 改善を通じた

- 考察- (高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 43-54, 2015)
山田邦雅, 鈴木誠, 細川敏幸, 池田文人, 飯田直弘
2. 過去3年の学習状況調査からみえる北大生の特徴-2014年IRプロジェクト活動報告-
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 67-73, 2015)
徳井美智代, 宮本 淳, 山田邦雅, 細川敏幸
 3. 北海道大学教育マネジメントFDマニュアル
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 91-107, 2015)
細川敏幸, 山田邦雅, 安藤厚, 阿部和厚
 4. 日本におけるeポートフォリオ活用例-eポートフォリオ導入校の調査と北大版の構想- (高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 143-151, 2015)
川畑智子, 竹山幸作, 細川敏幸
 5. 2014年度IDEセミナー報告/I DE北海道支部「これでいいのかFD」
(IDE現代の大学教育 570, 71-75, 2015)
細川敏幸
 6. 2015年度IDEセミナー報告/I DE北海道支部「高校・大学接続の将来像」
(IDE現代の大学教育 578, 75-79, 2016)
細川敏幸
 7. 授業経験の質の差異が学生の学習態度・能力の自己評価に与える影響-2012~2014年学生調査の分析結果より-
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中
徳井 美智代, 宮本 淳, 山田邦雅, 細川敏幸
 8. 平成27年度北海道大学教育ワークショップの取り組み
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中
山本 堅一, 細川 敏幸, 山田 邦雅, 飯田 直弘, 三上 直之, 鈴木 誠, 木村 純,
亀野 淳

[著書その他]

1. Peat Fire Impact on Water Quality and Organic Matter in Peat Soil (Chaptor18)
Tropical Peatland Ecosystems, Mitsuru Osaki , Nobuyuki Tsuji (edit)
(Springer (NewYork), 281-296, 2015)
Yustiawati, Kazuto Sazawa, M. Suhaemi Syawal, Hideki Kuramitz, Takeshi
Saito, Toshiyuki Hosokawa, Masaaki Kurasaki and Shunitz Tanaka

亀野 淳

[論文他]

1. 大学入学時のジェネリック・スキルを規定する要因分析-北海道大学1年生に対する調査結果をもとに-
(『高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習-』, 第23号, (印刷中), 2016)
亀野淳
2. 中国に高等職業教育における個別型産学連携教育の現状と課題
(『生涯学習・社会教育研究ジャーナル』, 第8号, (印刷中), 2016)
亀野淳
3. 大学生のコンピテンシー・リテラシーと大学生活との相関に関する実証的研究 (『人材育成学会第14回年次大会論文集』, 81-86, 2015)
亀野淳
4. 北海道大学における全学インターンシップの特徴と課題-参加学生アンケート調査結果分析(2014年度)-
(『高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習-』, 第22号, 133-141, 2015)
亀野淳
5. フィンランドにおける学位・資格枠組みの現状と職業教育型高等教育機関における教

育の質保証」九州大学編『教育と訓練の統合的な職業教育・高等教育資格枠組みプロジェクト』

(文部科学省平成 26 年度委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」報告書), 59-64, 2015)

亀野淳

6. ビジネス領域の定量的把握と「学び直し」発展の可能性 — 「学校基本調査」「就業構造基本調査」をもとに—九州大学編『グローバル人材に向けてのリカレントなモジュール型学習プロジェクト』

(文部科学省平成 26 年度委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」報告書), 81-84, 2015)

亀野淳

7. 平成 27 年度北海道大学教育ワークショップの取り組み

(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中

山本 堅一, 細川 敏幸, 山田 邦雅, 飯田 直弘, 三上 直之, 鈴木 誠, 木村 純, 亀野淳

山田邦雅

[論文他]

1. シラバス作成型 FD 研修会の評価法-北海道大学における 2014 年度の FD 改善を通じた考察- (高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 43-54, 2015)

山田邦雅, 鈴木誠, 細川敏幸, 池田文人, 飯田直弘

2. 過去 3 年の学習状況調査からみえる北大生の特徴-2014 年 IR プロジェクト活動報告- (高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 67-73, 2015)

徳井美智代, 宮本 淳, 山田邦雅, 細川敏幸

3. 北海道大学教育マネジメント FD マニュアル

(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 91-107, 2015)

細川敏幸, 山田邦雅, 安藤厚, 阿部和厚

4. アクティブラーニング授業の構成～学生の学び合いをどう生かすか～ (大学教育学会誌, 37(2), 2015)

山田邦雅, 土岐智賀子, 長谷川詩織, 安田淳一郎, 長澤多代

5. 平成 27 年度北海道大学教育ワークショップの取り組み

(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016 (印刷中))

山本堅一, 細川敏幸, 山田邦雅, 飯田直弘, 三上直之, 鈴木誠, 木村純, 亀野淳

6. 授業経験の質の差異が学生の学習態度・能力の自己評価に与える影響—2012～2014 年学生調査の分析結果より—

(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中

徳井 美智代, 宮本 淳, 山田邦雅, 細川敏幸

池田文人

[論文他]

1. シラバス作成型 FD 研修会の評価法-北海道大学における 2014 年度の FD 改善を通じた考察- (高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 43-54, 2015)

山田邦雅, 鈴木誠, 細川敏幸, 池田文人, 飯田直弘

2. 北海道大学ポスト A0 入試の創造—高大連携に基づく新たな推薦入試の可能性— (『高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習』 No. 22, 2015, 109-121)

鈴木誠, 池田文人, 飯田直弘ほか

3. 平成 27 年度北海道大学教育ワークショップの取り組み

(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中

山本 堅一, 細川 敏幸, 山田 邦雅, 飯田 直弘, 三上 直之, 鈴木 誠, 木村 純, 亀野 淳

三上直之

[論文他]

1. 北海道大学公開講座（全学企画）の現状と将来像の検討
（高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 123-131, 2015）
三上直之, 木村純, 瀧澤一騎, 飯田直弘, 児玉直樹
2. 研究総合大学における全学型公開講座の運営動向
（高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016）印刷中
三上直之, 木村純, 飯田直弘, 児玉直樹
3. 平成 27 年度北海道大学教育ワークショップの取り組み
（高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016）印刷中
山本 堅一, 細川 敏幸, 山田 邦雅, 飯田 直弘, 三上 直之, 鈴木 誠, 木村 純,
亀野 淳

[著書（共著）]

1. 市民の日本語へ：対話のためのコミュニケーションモデルを作る（ひつじ書房, 2015）
村田和代・松本功・深尾昌峰・三上直之・重信幸彦著

[著書（分担執筆）]

1. “Bridging Global-Local Knowledge Gaps in Public Deliberation,”
Mikko Rask and Richard Worthington (eds) Governing Biodiversity
through Democratic Deliberation (Routledge (London), 170-190, 2015)
Naoyuki Mikami and Ekou Yagi
2. “Public participation in decision-making on energy policy: The
case of the ‘National Discussion’ after the Fukushima Accident,”
Fujigaki, Y. (ed.) Lessons From Fukushima: Japanese Case Studies on
Science, Technology and Society (Springer (Cham), 87-122, 2015)
Naoyuki Mikami

飯田直弘

[論文他]

1. シラバス作成型 FD 研修会の評価法-北海道大学における 2014 年度の FD 改善を通じた考察-
（高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 22, 43-54, 2015）
山田邦雅, 鈴木誠, 細川敏幸, 池田文人, 飯田直弘
2. グローバル人材育成関連事業に焦点を当てた大学ガバナンスの事例分析
（『学士課程教育の質的転換を実質化するためのガバナンスシステム』中間報告書）,
文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B) (海外学術調査) (代表：秦由美子), 2015 年
飯田直弘
3. アイルランド調査報告
（『平成 26 年度「教育と訓練の統合的な職業教育・高等教育資格枠組みプロジェクト」成果報
告書』, 平成 26 年度文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略
的推進」事業「中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム」(代表：吉本圭
一), 2015 年)
飯田直弘
4. 北海道大学ポスト A0 入試の創造—高大連携に基づく新たな推薦入試の可能性—
（『高等教育ジャーナル—高等教育と生涯学習』No. 22, 2015, 109-121）
鈴木誠, 池田文人, 飯田直弘ほか

5. 研究総合大学における全学型公開講座の運営動向
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中
三上直之, 木村純, 飯田直弘, 児玉直樹
6. 平成 27 年度北海道大学教育ワークショップの取り組み
(高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習- 23, 2016) 印刷中
山本 堅一, 細川 敏幸, 山田 邦雅, 飯田 直弘, 三上 直之, 鈴木 誠, 木村 純,
亀野 淳

[著書その他]

1. 教育評価と入学者選抜
(岡田昭人 (編著) 『教育学入門—30 のテーマで学ぶ—』, ミネルヴァ書房, 2015 年, 147-154)
飯田直弘

平成 26 年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

1) ニュースレターの編集発行

- ・ 98号：2014年4月18日 ・ 99号：2014年7月30日
- ・ 100号：2014年11月28日 ・ 101号：2015年2月27日

2) 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第22号：2014年3月31日発行予定

2. 客員（特任）教員と研究員

Fernando Cornet 教授：グラナダ大学（スペイン）理学部教授（1956年8月30日）

招聘期間：2014年7月15日～9月15日

研究テーマ：ヨーロッパの大学における物理教育の展開

9月1日（月）16:00-17:30 講演「ヨーロッパにおける留学生の流動性を支えるしくみ」。ジャーナル22号に報告に掲載。

笠原政志准教授：国際武道大学

招聘期間：2014年12月18日～12月25日，2015年2月12日～2月15日

研究テーマ：競技者に向けた至適なトレーニングとコンディショニングの検討

12月20, 21, 23日：トレーナー講習会。ジャーナル23号に報告掲載予定。

宇田川拓雄（北海道教育大学函館校教授）

研究テーマ：PFF と FD の連携プログラムの研究開発

ジャーナル22号に論文掲載予定。

布施泉（情報基盤センター・教授，オープンエデュケーションセンター・教授）

岡部成玄（北海道大学・名誉教授）

研究テーマ：双方向遠隔授業における効果的な教育環境と教育手法の開発と評価

ジャーナル22号に報告2編掲載予定。

- ・ 大学におけるSDのあり方に関する研究会

報告書を年度内に印刷予定。

- ・ 地域住民の生涯学習への大学の参画に関する研究会

報告書を年度内に印刷予定。

3. 研究グループの活動

1) 教育支援

1 FD, SD 関連

- ・ 全学教育 TA 研修会：4月2日（水）：226名参加。
- ・ TF 研修会：2015年2月18日（水）：135名修了，3月4日（水）水産学部：8名修了
- ・ 北海道大学教育ワークショップ：新任教員を対象に2回
（春）6月13日（金）～14日（土）：37名参加
（秋）11月14日（金）～15日（土）：27名（学外5名）参加
- ・ 新しいFDの実施
- ・ 新任教員向けキャンパスツアー：8月21日（木）
- ・ 他文化交流科目FD：8月25日（月）24名参加
- ・ 平成25年度総長室事業推進経費プロジェクト成果発表ワークショップ
：9月18日（木）37名参加
- ・ 教育改善マネジメントの研修：12月5日（金）18名（2名学外）が参加。
- ・ 英語授業をサポートするFD：7月7日（月）20名，10月9日（木）20名参加
- ・ 国際FDワークショップ「初心者向けキャリア・カウンセリング入門」

11月19日(水), 9名参加

- ・ソウル大学とのジョイントシンポジウム

11月28日(金), 北大7名ソウル大3名参加

ジャーナル22号に「教育マネジメントFD」について報告, 「ワークショップ」についての論文掲載予定。

2 入学者選抜関連

1) 高大連携入試制度研究会

- ・岡山大学アドミッションセンター調査: 10月9日(木) 15:30~
- ・筑波大学アドミッションセンター調査: 10月27日(月) 10:00~

2) 平成26年度「高等学校と大学の連携に関する研究会」(高大連携研究会)の開催

7月31日(金) 18:30~20:30, 10月31日(金) 18:30~20:30, 12月5日(金) 18:30~20:30

3) アカデミック・サポート推進室の活動(総合入試に対応した進路指導, 学習サポート, 入試・学習成果・進路志望等のデータ分析)の支援

- ・ジャーナル22号に「ポストA0入試」について報告予定。
- ・論文 鈴木 誠: 「フィンランドの大学入学資格試験「生物」における基礎的分析」『大学入試研究ジャーナル』No. 24. pp161-168. (印刷中)
- ・平成24年度 北海道大学入学試験調査報告書(アカサポと合同)
- ・平成24年度 北海道大学新入生アンケート調査報告書(アカサポと合同)

3 国際入試導入関連

1 調査

- ・京都大学調査: 2月9日(月)
- ・玉川学園高等部・教育学部調査: 1月28日(水)
- ・立命館宇治高校調査: 2月9日(月)
- ・関西大学調査: 2月12日(木)
- ・加藤学園暁秀高校調査: 2月23日(月)
- ・リンデンホールスクール調査: 2月26日(木)
- ・イギリス調査(予定): 3月2日(月)~13日(金)
- ・民間企業調査(武田薬品・楽天・東京海上): 3月4日(水)~5日(木)
- ・フィンランド・フランス調査: 3月22日(日)~29日(日)

2 国際入試調査会議

- ・毎月2回程度

4) 入試広報支援

- ・北大セミナー(旭川: 2000名・帯広: 300名)
- ・進学説明会: 例えば
- ・北大主催: 東京(8月23日), 大阪(10月26日), 名古屋(10月25日)
- ・朝日新聞社主催: 東京, 大阪, 名古屋, 横浜(7月中旬から8月末)
- ・東大主催: 東京, 大阪, 名古屋, 札幌, 広島(7月中旬から9月中旬)
- ・予備校主催: 代ゼミ: 11月, 駿台: 11月, Z会: 福岡, 広島, 岡山(7月)
- ・高等学校進学説明会: 函館中部高校大学説明会他多数
- ・知のフロンティア第3号 刊行
- ・第13回大学改革シンポジウム 大学入試改革について 国大協
- ・全国大学入学者選抜研究連絡協議会発表
- ・帰国子女特別選抜出願要件審査 他

5) 高大連携関連

- ・SSH指定の立命館慶祥, 釧路湖陵, 佐倉の運営指導

- ・GSC 指定に伴う様々な活動

例えば

- 1) 7月・10月時の全道広報活動（高校回り）と選抜
- 2) コンソーシアムの運営
- 3) JST による聞き取り

JST 本部にて経過報告・問題点の共有化

- 4) 道教委、理科センターとの各種打ち合わせ
- 5) Hokkaido サイエンスリンク協議会との打ち合わせ
- 6) 校長会・高文連・北理研関係者とのコンタクト
- 7) サイエンスアゴラへの高校生引率と指導 他多数

- ・SGH 指定校に対する支援
- ・高大連携聴講科目の開講と運営

2) 教育評価

- ・学生調査アンケートの実施、分析（報告書 2015 年 3 月発行予定）
- ・卒業生調査アンケートの実施、分析（報告書 2015 年 3 月発行予定）
- ・「2014 年度 IR シンポジウム」の開催（8 月 5 日 甲南大学）155 名参加
- ・IR ネットワーク推進室視察受入
（7/22 北海道大学図書館、11/11 芝浦工業大学、11/13 福岡歯科大学）
- ・アクティブラーニングに関する調査（2015 年 3 月実施予定）
- ・授業アンケートの分析、報告
- ・企業・公務員アンケートの分析、報告

ジャーナル 22 号に「IR 活動」について報告掲載予定。

3) 学生支援

1. インターンシップ・キャリア教育、人材育成関連

1) 全学インターンシップ

- ・全学インターンシップ説明会：4 月 14 日（月）、16 日（水）511 名参加
- ・学生と企業等のマッチング

第 1 次：5 月 20 日（火）93 名、第 2 次：6 月 3 日（火）51 名、第 3 次：6 月 17 日（火）17 名、
第 3 次以降 50 名、計派遣学生 211 名

（新渡戸カレッジ生を含む）、前年比 21% 増

- ・事前研修：7 月 1 日（火）、4 日（金）、8 日（火）、11 日（金）
- ・派遣学生個人面談（1 人約 10 分、211 名）：7 月 14 日（月）～8 月 7 日（木）、函館キャンパス
7 月 28 日（月）

2) キャリア教育関連

- ・キャリア教育科目（「大学と社会」、「キャリアデザイン」）の実施
- ・新渡戸カレッジ、現代日本学プログラムとの連携（新渡戸カレッジ学生に対するインターンシップの実施、現代日本学プログラムにおけるインターンシップ・プログラムの検討）

3) 人材育成に関する研究など

- ・PROG（コンピテンシー、リテラシーの定量的把握のための手法）の実施・分析（全学インターンシップ参加者、キャリア教育科目受講者、陸上部部員計延べ 426 名）
- ・フィンランド・ドイツ調査（学位・職業資格枠組み）11 月 5 日（水）～12 日（水）

ジャーナル 22 号に「インターンシップ」について報告掲載予定

2. スポーツ・トレーニング関係

1) トレーニングセンターの管理・運営、課外活動支援

- ・トレーニングセンターの管理・運営（年間 4 万人前後、前年比約 120%）
- ・食べて勝つプロジェクト講習会実施（計 8 回実施、毎回 30-60 名程度の参加）
- ・客員教員によるトレーナー講習会実施（計 5 回実施、100 名程度の参加）

- ・現代日本学プログラム予備課程入学生ガイダンスにおける体育会と課外活動の説明

2) トレーニング・コンディショニング開発・普及関連研究

- ・トレーニングセンターにおける研究で学会賞を2回受賞 (Best paper award, Movement, Health and Exercise 2014. 若手研究者賞, 第54回北海道体育学会大会)
- ・第1回北海道大学スポーツトレーニングセンターシンポジウム「スポーツ選手に筋力トレーニングは必要か？」開催 (参加者221名)

4) 地域連携

- ・高大連携授業聴講型公開講座の運営・実施 (第2学期=6校・35名参加)
 - ・「博物館ボランティアの集い」の開催 (10月27日・28日=160名参加)
 - ・平成26年度北海道大学公開講座 (全学企画)「安全・安心な社会とくらしを創る」の実施 (7月=91名受講) と、平成27年度同講座の企画
 - ・北海道大学の中期目標や近未来戦略に即した公開講座 (全学企画) の将来像に関する検討
 - ・遠友学舎炉辺談話の開催 (2~3月に計4回)
 - ・新たな公開講座等のプログラム開発と実践
 - ・小学生対象のかけっこ教室「未来のアスリート目指して」(5月10日=68名参加) と、市民ランナー対象の公開講座「アドバンスドランニング講習 (1~3期)」(1期5~6月=20名参加, 2期7~8月=19名参加, 3期9~10月=19名参加)
 - ・科学技術コミュニケーター向けのスキルアップ講座「対話の場のデザインワークショップ~「さんかく△テーブル」をつかってみよう~」(7月6日=24名参加)
 - ・第1回北海道大学スポーツトレーニングセンターシンポジウム「スポーツ選手に筋力トレーニングは必要なのか？」(2月14日=221名参加)
 - ・生涯学習・社会教育行政職員等の継続教育のための職業専門型公開講座「生涯学習計画セミナー」(3月1日=24名参加)
 - ・地域社会と大学との連携のあり方に関する調査の一環として、第36回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に参加 (9月8日・9日, 鳥取大学)
 - ・地域住民による生涯学習への支援として、道生涯学習審議会委員や札幌市, 石狩市の社会教育委員等を務めたほか、道立生涯学習推進センター運営協議会, 道民カレッジ「ほっかいどう学」大学インターネット講座実行委員会, さっぽろ市民カレッジ企画委員会等に参画
- ジャーナル22号に「公開講座の現状と検討」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

1) 全学教育

教養科目4コマ, 総合科目及び一般教育演習12コマ開講

2) 大学院教育

理学院, 教育学院, 保健科学院で開講

3) 大学院共通授業

UC バークレーPFF セミナー

5. 学協会等の活動支援

- 1) IDE 大学協会北海道支部の活動の支援 (研究集会8月8, 9日の企画, 報告書の編集等)
- 2) アドミッションセンターの支援
- 3) 北海道地区FD・SD 推進協議会の支援 (総会12月10日(水)の支援)

6. スーパーグローバル等への対応

- 1) 高等教育研修センターの設置準備(平成27年度設置のため)

- 2) IR 活動によるサポート, 総合 IR 室 (仮称) の企画支援
- 3) TF 研修ならびに教育力養成講座(PFF)による TF 養成
- 4) サテライト・スクールへの参加準備
- 5) 国際入試導入への支援
- 6) グローバルアドミッションセンター企画の支援

7. 外部資金の獲得

- 1) 平成 24 年度採択 文部科学省大学間連携共同教育推進事業「教学評価体制 (IR ネットワーク) による学士課程教育の質保証」, 北大が 8 大学の代表校 (代表新田副学長, 担当細川) : 26 年度予算 5200 万円
- 2) 平成 26 年度グローバルサイエンスキャンパス, 「地球と生命を理解する開拓力の開発」代表山口総長, 担当 鈴木 : 26 年度予算 2200 万円
- 3) 科研費 基盤(A), 鈴木誠 : 「コンピテンスに基づいた、初等中等理科教育の学習コンテンツ再構成に関する研究」
- 4) 科研費 基盤(C), 三上直之 : 「ミニ・パブリックス型の参加手法が環境政策に与える影響の解明と手法活用の指針開発」
- 5) 科研費 萌芽, 瀧澤一騎 : 「トレーニングによる筋機能の向上がアルコール代謝に及ぼす影響」
- 6) 科研費 若手(A), 瀧澤一騎 : 「持久走前における適切なウォーミングアップの開発」
- 7) 科研費 若手(B), 飯田直弘 : 「イギリスの企業と大学における「アカデミック—職業ディバイド」の実態に関する研究」